新京日日新聞
夕刊
十二月二十六日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河忠
編輯人 松本榮勇
印刷人 水越內之介

殘留フランス兵を獨領から完全驅逐

獨逸軍司令部發表 西部戰線戰況

【ベルリン二十五日發國通】ドイツ軍司令部は二十五日西部戰線においてフランス兵をドイツ領から完全に驅逐したとて左の如く發表した

ドイツ軍は二十五日フエリクゲンの西方およびホルンバツハの東方においてドイツ領內に殘留せるフランス軍最後の兵力約一ケ中隊に對し攻擊を加へこれを國境外に擊退した

【パリ廿五日發國通】佛軍司令部は廿五日の戰況に關し左の如く發表した

わが前衞部隊の偵察活動は相當活潑で敵軍又若干の反擊を行ひ來つたが、わが軍はモーゼル河地域において部隊を擊退した

ドイツ總督が統治

ポーランド占領地域を

【ベルリン廿五日發國通】ヒトラー總統は廿五日附布告をもつてドイツ本國に併合せられざりしポーランド占領地域を總督の治下に置く旨發表、同時に無任所相フランク博士を同總督に、オスマルク管區知事ザイス・インクワルト博士を副總督に任命した、なほ右布告によれば新總督はヒトラー總統に直屬し、全行政權を掌握することに定められてゐる

英首相、下院で 獨外相演說を反駁せん

【ロンドン廿五日發國通】チエンバレン首相は廿六日午後下院における週間戰況演說中において廿四日夜のリツペントロツプ獨外相の演說を反駁する豫定である

英貨物船爆沈

【ジブラルタル二十四日發國通】ジブラルタル軍港當局の語るところによればメニンリツジ號（二四七四噸）タイフナ號（四四一三噸）およびレツドベリ號（三五二八噸）の英國貨物船三隻はジブラルタル軍港を去る西方八海里の海上で相次いで爆沈したといはれる、爆沈詳報は不明であるがメニンリツジ號乘組員五名、レツドベリ號乘組員三十一名計三十六名は折柄附近航行中の米國海軍委員會所屬船舶クラウンシテイ號（五四二八噸）に救助された

ソ聯の對芬蘭 强硬三要求

【コペンハーゲン廿五日發國通】廿三日再開のソ芬會談はソ聯側の强硬要求のためまたまた一頓挫を來したが、廿五日コペンハーゲンに達したモスクワ情報によればソ聯の對芬要求は左の三要求を含んでゐると言はれる

一、フインランド灣內のホグランド、チスタスカリ、セイツカリ三島に對する一定の權利獲得

一、オーランド島非武裝の保障

一、フインランドは今後反ソ政策をとらざる旨の協定締結

伊、ユ新通商協定

【ブダペスト廿四日發國通】政府筋の洩すところによれば廿四日イタリー、ユーゴースラヴイア間に新通商協定が成立した、右通商協定においてイタリーはユーゴースラヴイアより小麥、牛、馬、鑛石、木材を輸入すると共にユーゴースラヴイアに對し纖維工業製品を輸出することゝなつた

瑞、獨新通商協定

【ベルリン廿四日發國通】スイス政府は過去八週間に亘る折衝の後廿四日ドイツとの間に通商生產協定を締結調印した旨發表した、協定內容は發表されないが確聞するに新協定はスイスより一般物資をドイツに供給するに對しドイツは石炭をスイスに輸出することを規定したものと解される

佛前線へ着いた英自轉車隊

英國機伯林偵察

【ロンドン廿五日發國通】英國空軍省は廿五日英國空軍機がベルリン上空の偵察飛行を敢行した旨左の如く發表した

廿四日來英國空軍偵察部隊は敵狀偵察を行つたがその際ベルリン、ハンブルグ、マグデブルグ等諸重要都市に對しても夜間偵察飛行を敢行した

オランダ沖で 英獨艦隊交戰か

【ザンドボルト廿五日發國通】オランダ中部海岸ザンドボルト附近の住民は二十五日午前十一時から約三十分に亘り北海方面で猛烈な銃砲聲を耳にした、おそらく右は英獨艦隊の交戰による砲聲か或はオランダ上空を侵犯せる交戰國飛行機を射擊するオランダ海岸警備隊の砲聲であらうと見てゐる

重慶國共軋轢激化

蔣、昆明で對策に腐心

【香港廿五日發國通】重慶來電によれば蔣介石は目下徐庭瑤を帶同表面新編雲南軍閱兵に籍口して昆明に滯在中であるが、戰時首都重慶は蔣介石不在のため國共關係の惡化に拍車をかけて非常な不安を惹起してゐる、仄聞するに現下の重大時局に蔣介石が重慶歸還を冉在してゐるのは、同地において共產黨に對する善後策を練つてゐる爲と言はれる

第九戰區掃蕩の 各部隊最近戰果

【漢口廿五日發國通】敵第九戰區の掃蕩を續行しつゝある各部隊の最近における戰果左の如し

一、わが部隊は廿三日拂曉新墻河北方地區後山坪西南において敵三百を猛擊東南方に潰走せしめた、遺棄死體百六十二

一、わが部隊は廿二日朝、粵漢線西側新墻河北方地區晏家大山附近において第百二師に屬する約百五十の敵を攻擊西南に遺走せしめた、敵遺棄死體五十

一、わが部隊は廿三日高安東北方地區において敵集團を急襲これを四散せしめた、遺棄死體五十七、捕虜一

南鄭、繩池を猛爆

【〇〇基地廿五日發國通】陸空軍の精鋭佐世、鈴木、松山各部隊の大編隊は〇〇部隊長自ら搭乘指揮して廿五日午後四時陝西の要衝南鄭を空襲、同地の飛行場並に軍事施設に對して猛爆を加へ全機悠々基地に歸還した

【〇〇基地二十五日發國通】陸鷲山口、山崎、內藤各部隊は廿五日正午黃河南岸隴海線上の要衝繩池を急襲軍事施設ならびに停車場を粉碎同地を基地として山西省垣曲方面に侵入せんとする衞立煌軍の企圖を完全に潰滅せしめた

田中中銀總裁關係者を招待懇談

【東京國通】上京中の田中中銀總裁は廿五日正午帝國ホテルに結城、津島正副日銀總裁をはじめ滿洲國際シ團十三行四信託代表を招待午餐會を開催、滿洲國の產業開發並に金融狀況、日滿資金の交流狀況並日滿兩國の國際收支狀態を詳細に說明し今後の日滿兩國の經濟的結合につき懇談を遂げた

滿洲國貿易の新方途打開協議

初の時局貿易懇談會

時局下貿易政策の重要性に鑑み關係機關の連絡を密にして情報の蒐集に努め以て適切なる方途打開を圖るべく設置された經濟部主催時局貿易懇談會の第一回會合は廿五日午後二時より中銀會議室に於て開催

松田經濟部次長、靑木金融山梨商務兩司長、隱岐貿易石渡爲替兩所長、企畫處池田參事官、田村外務局政經處第四科長、今吉關東局司政部長、鹽谷同經濟、沼田同財務兩課長、中銀海上、高木兩理事、正金大村支店長井上三菱、加藤三井各支店長等出席（產業部、專管公社缺席）

先づ松田經濟部次長より定例貿易懇談會設置の趣旨及び懇談の方針に就き

一、歐洲動亂の影響を被つた滿洲國貿易の困難を積極的に打開するため一般的問題よりも寧ろ個別的問題の處置につき輸出、輸入を睨み合せてこれが具體的對策を考究したい、即ち輸出はその後相當各國より大豆の新規申込があるが、どれ丈のが出來るかに就き個別に檢討し、輸入は爲替の關係を充分考慮して遺憾なき方策を樹てねばならぬ故業者と愼重に協議したい

一、對獨貿易は一時種々取沙汰があつたが當方より駐獨公使を通じて滿獨協定は遵守する旨明確なる申入れを行つた結果、ドイツ側もこれが恢復に盡力してゐるので漸次好轉しつゝある

一、配船の問題に關しても重點主義に依り何を最も必要とするかを見定めその順序を決め、また支拂の迫つたものゝ中どれを先にするかも仔細に調査せねばならぬ

一、弗リンクへの轉換は直接影響はないが今後磅の弱含みのため先物契約上の影響は豫期せねばならず、滿洲國としては日本と同一步調をとらねばならぬ立場を考慮の上、今後の對策については業者の忌憚なき意見を承りたい

旨挨拶あり三菱、三井等の貿易業者よりリンク變更により差當り旣た磅爲替許可を與へたものに就いてはニユーヨークの支店と連絡をとり强力弗決濟にするやう手配するとの意向を表明し、その他新規輸出入手續の件、優先輸入の物資等オフイシアルな問題について互に隔意なき意見の開陳を行つたが、今後は幹事側において當面の措置につきあらかじめ議題を纒めて會議に提出する方法をとり、適宜にその對策を決定することゝなり午後五時散會した

近東四國會議開催

土國を中心に情勢檢討

【アンカラ廿五日發國通】ソ聯、トルコ交涉の決裂以來トルコを中心とする近東諸國の外交活動は俄然活潑となつて來たが、サーバツト協定加盟國たるトルコ、アフガニスタン、イラン、イラクの四近東國は歐洲情勢を檢討するため近東四ケ國會議を開催するに決定、右會議の豫備會議は旣にアンカラにおいて續行中であるとさへ傳へられてゐる、しかして四國會議の議題としては

一、英、佛、トルコ三國相互援助協定の近東情勢に對する影響

一、ソ聯、トルコ關係の緊迫化

一、ソ聯對外政策の積極化

等が審議されると傳へられてゐる、なほ會議開催地はアンカラ若くはバグダツドと見られてゐる

トルコ官邊と外國使臣來往頻り

【アンカラ廿四日發國通】モスクワにおけるソ聯トルコ交涉決裂後トルコの動靜は極めて注目せられ、各國大公使は今後トルコの動向を打診するためサラジヨグル外相に面接するもの相つぎ、トルコもまた同國の外國貿易促進を圖るためドイツ、ルーマニア、スエーデン等で協議しつゝあるのでこのところトルコ官邊と外國使臣との往復は俄然頻繁を加へるに至つた、サラジヨグル外相は廿二、廿三兩日に亘つてイノニユ大統領と協議した後、議會に對しソ聯、トルコ交涉の顚末を詳細報告議會は廿三日一旦休會したが、更に十一月一日再開、曩に締結されたる英佛トルコ相互援助條約を批推することゝなつた尙ソ聯トルコ交涉決裂後ヒトラー總統の命により急遽ベルリンに召還されたフオン・パーペン獨大使は近日中にアンカラに歸任する筈である

治安部次長後任に

三谷吉林省次長

薄田美朝氏の總務廳次長轉出に伴ひ治安部次長の後任には前警視總監安部源基氏を迎へることに決定、本人の承諾も得たが突如健康を理由に就任し難き旨申來つたので、政府當局は時局柄國內より早急に次長を決定することゝなり、現吉林省次長三谷淸氏に白羽の矢を立て各方面の諒解を得て本人の承諾も得た模樣で不日正式發令を見るものと見られる【寫眞は三谷淸氏】

興亞防共懇談會

【東京國通】第一回亞細亞防共懇談會は廿五日午前十時半から一ツ橋學士會館において開催された、航空便の都合で遲れた比島、印度、ビルマ三ケ國代表を除き滿洲國、中華民國臨時維新兩政府、蒙古自治政府、日本代表等廿余名および懇談會事務局側小笠原長生氏、山本忠興博士、赤井春海陸軍中將それたオブザーバーとしてスペイン代表エレラ大佐が出席し先づ學生バンドの奏する日本、滿洲、中華民國、蒙古、フリイツピン五ケ國國歌の奏樂裡に開會、宮城遙拜、防共聖戰將兵感謝默禱司會者山本博士の挨拶に次ぎ滿洲國田中鐵三郎、中華民國臨時政府超子戚、同維新政府李子峰、蒙古聯合自治政府金朝文、日本北島多一氏等五主席代表が交々立つてメツセージを朗讀次いで內閣總理大臣外務、陸軍兩大臣等の祝辭があり（代理）小笠原子を議長に推薦の後一旦休憩、午餐を共にし午後は參加各國に亞細亞赤化防衞に關する連絡機關設置の件その他の議案を上程審議、各國代表から防共事情の報告があつて第一日の幕を閉ぢた

英佛空軍中繼に 廣州灣利用

【香港廿五日發國通】華僑日報の廣州灣來電によれば佛國租借地廣州灣を香港の英空軍ならびに佛印の佛空軍中繼基地として利用するため防備施設を强化しつゝありと報じてゐる、從來廣州灣の飛行場は一つであつたが、昨春起工した新飛行場が最近完成し防備施設擴張も着々進捗中で每日數臺の飛行機が佛印から廣州灣に空輸され一部は雷州半島の演習に向つてゐるといはれる

人事往來

着京

▲山田孝介氏（會社員）二十五日來京ヤマトホテル ▲堀義雄氏（同）同 ▲山本誠之郎氏（同）同 ▲佐藤昌基氏（同）同 ▲谷村吹藏氏（同）同 ▲森岡正平氏（同）同 ▲深川擴麿氏（日本SKF興業會社）國都ホテル ▲佐藤象二郎氏（哈市商況通信社長）同 ▲坂口幸雄氏（日淸製油）同 ▲濱松羊氏（會社員）同 ▲木下敏夫氏（大倉商事）同 ▲金井佐彦氏（特業商）同 ▲石津武兵衛氏（滿洲電線）同 ▲小關勝利氏（日本無線）同 ▲北島政治氏（貿易商）同 ▲金子順治氏（幸豐煙草公司）同 ▲矢野善隆氏（近藤林業公司）同 ▲大山專一氏（會社員）三國ホテル ▲佐藤仲夫氏（三菱商事）同 ▲水元明氏（同）同 ▲財間繁氏（會社員）同 ▲先川喜次氏（牡丹江中央卸賣市場取締役）同 ▲小牟田鐵次氏（會社員）同 ▲伊藤與三郎氏（三井物産大阪支店長）滿蒙ホテル ▲岩崎値夫氏（會社員）同 ▲武波榮氏（同）同 ▲江橋貞二氏（同）同 ▲木村武之助氏（カオール本舗）同 ▲濱清一郎氏（會社員）同 ▲近藤德藏氏（官吏）大都ホテル ▲梅津信夫氏（滿鐵社員）同 ▲多田敬由氏（滿航社員）同 ▲鷲山義直氏（滿洲製糖）同 ▲水內忠氏（滿洲工廠取締役）同 ▲石川英一氏（官吏）同 ▲中澤英夫氏（會社員）同 ▲井伊勇氏（東邊道開發會社）蓬萊ホテル ▲有村直義氏（官吏）同 ▲小田切博雄氏（同）同

出發

▲龜山一二氏 二十五日內地へ ▲川口四郎吉氏 哈市へ ▲原田猪八郎氏 大連へ ▲原田惠伍氏 同 ▲山內豐四郎氏 同 ▲秋吉威郎氏 哈市へ ▲藤田忠次郎氏 東京へ ▲井本傳次氏 奉天へ ▲山本寅雄氏 大連へ ▲石川祥一氏 東京へ ▲五十嵐正之氏 牡丹江へ ▲長谷川幸平氏 哈市へ ▲田中淸藏氏 同

その日く

□ さあ石炭をたいていゝ、とは言つても決して無茶はゆるされぬのだ

□ ともあれ今度の石炭節約運動は、いろいろ數ふるところがあつた

□ 國民の自發的な國策への協力、それがあれまでに行はれ得たのは認むべきだ

□ 上からの一方的な指導、すべてにそれではいけないことも判つたであらう

□ 笛吹くことは容易い、しかし國民に强く足を踏み出さすことは決して容易くない

解禁にはなつたがこの心懸け

まだ暖かいぞ プラス十四度 石炭を焚くな!

節炭週間第一日好績

低溫生活の強調も二十五日をもつて終り、二十六日からは愈よ採煖期に入り、協和會中央本部では採煖期に入つてからも出來得るかぎりの低溫生活を勵行するやう注意してゐるが、さて採煖初日は朝六時で氷點下二度、十時の觀測ではプラス十四度を突破、未だ〳〵上昇しやうといふまるで小春日和のやうな暖かさだ、全市はこの日より一齊に石炭節約強調週間に入り初冬の空はすつきりと晴れ渡つて煙も大して上つてゐないやうだ、提唱の總本山協和會中央本部では實踐窮行廿六日は未だ採煖してゐない、護國の石炭擧國で護れ、まれにみる暖溫に惠まれて石炭の節約運動は非常な好成績を示してゐる、初日街の狀態は更に調子落ちの氣配がみえず煙の出てゐる煙突も採煖期に入つたと云ふ申譯ばかり、寶山、三中井を初め市內目拔きの建物には、それ〴〵節炭強調の懸垂幕が行人の目を引いて居り、到る所にポスターやビラの配布に「石炭が焚けるぞ!」とゆるんだ市民の心をぐつと引締めてゐる節炭運動強調週間の第一日朝の色彩は効果百パーセントである【寫眞は實地指導に當つてゐる日滿商事燃燒班】

賭博場の喧嘩

廿五日午後八時頃大和通一番地天成糧棧經理宮純二方で滿人八名が車座になり牌九賭博を開帳中長通路東馬路石油組合棧內封雲天(四五)が賭博の元手が無くなつたのを知らぬ顏をしてやつてゐるのを鐵道北三不管居住の呂殿俊(二八)が發見して不屈千萬とばかり傍にあつた鍬を取り上げるや突然封の左腹部差し昏倒してゐる間に逃走、被害者は直ちに百川醫院に擔ぎ込み手當を加へた結果生命には別條なく一先づ歸宅さしたが加害者及び賭博一味に就いては目下嚴探中である

自轉車泥棒捕る

二十五日午後五時頃日本橋通東公園內で見すぼらしい半島人風の男と滿人とが新しい自轉車を中に八十圓で賣買しようとしてゐる所を密行中の順天署司法係李、王兩刑事が發見、不審に思ひ朝日通派出所に連行せんとした所、自轉車を放棄したまゝ逃走せんとしたので追跡格鬪の上順天署に連行して取調べた結果右の半島人は朝鮮慶尙北道生れ住所不定金權漢(二一)で二週間前窃盜被疑者として首都警察廳に檢束されてゐた者で、釋放されるや早速ダイヤ街太陽ホテル前に有つた自轉車(百二十圓)を窃取して前記の如く東公園に於て滿人に賣却せんとしたものと判明した

市公署兎狩り

市公署では十一月五日全職員を動員小八家子に於て兎狩を擧行する

學童に榮養食を

健全生活館が新試み

國都學童の偏食矯正に乘出した健全生活館では新しい試みとして、さきに新設した榮養指導部により、來月早々全小學校に榮養食を賄ふことになつだが、早くも千人分の申込みが殺到し、現在のお臺所では三百人しか賄ふことが出來ず開業匆々給食に差支へてはと擴張工事を急がせてゐる

電々現業所長會議

電々新京管理局に於ては第三回管內現業局所長會議を二十六日より二十八日迄三日間に亘り開催することとなり二十六日午前九時より大同廣場本社會議室に於て第一日を開催した、會議に招集した局所長は市內中電、中話、放送局長其他管內各地より七十九名で會議日程は左の如くである 第一日管理局長訓示、諮問事項、總務關係指示、協議事項、電務關係指示、協議事項▲第二日放送關係指示、協議事項、技術關係指示、協議事項、經理關係指示、協議事項▲第三日自由打合せ 尙會議終了後は躍進國都の姿を見學することとなつてゐる【寫眞は現業所長會議】

防犯協會から某橫領犯人檢擧に際し捜査當局に協力した勞により感謝狀並に金一封を授與された三笠町三一九料亭住吉こと吉田庄太郎さんはその金一封に十七圓を足して金二十圓を同署保安係へ貧民救濟費の一部に充てゝ下さいと寄附方申出た

獻金と寄附 喫茶太陽の女將

市內永樂町一丁目喫茶太陽の女將岩井ヤス子さんは先頃病氣中に各方面から見舞を受け全快にあたりそれぞれ返禮を行ふべきであるが時局柄それよりもと三十圓を國防獻金に三十圓を新京陸軍病院に寄附し好意にむくいたしと二十五日本社に寄託、よつて直ちに豫定の手續きを了した

貝瀨滿化社長就任披露

滿洲化學工業株式會社では去る十日の總會に於て貝瀨謹吾氏社長に決定、二十五日午後六時半から新京ヤマトホテルへ日滿各界の代表五十余名を招待披露を行つたが、宴酣なる頃貝瀨氏の挨拶があり、これに對して來賓を代表して韓經濟部大臣謝辭を述べ歡談一時間余で散會した

みしまやの誓文拂ひ

市內日本橋通り吳服の老舖みしまやでは二十六日から三十一日まで恒例の誓文拂ひを行ふお召、錦紗、銘仙、プレザン、疋田、大島、半襟、帶揚などの特價品の外七五三祝着、婚禮衣裳の陳列會を催してゐる

あす(廿七日)

▲節炭強調週間第二日

今夜の主なる放送

▲七、三〇國民の時間▲七、四〇朝鮮新歌曲▲八、〇〇講談「一休と蜷川智惠競べ」(東京)邑井貞吉▲八、三〇防空讀本(東京)▲八、四〇時局談話(東京)

冬の生活座談會

本社主催でけふ開催

滿洲の冬を如何に經濟的に且つ健康に過すかは在滿邦人の最も重大關心事であるが、未だ確たる根底なく殊に內地からの初渡滿者には何から何まで不案內のため經濟上にも健康上にも纏展すべき點が多々あるので、本社では從來の居住者には生活改善となり、新渡滿者には生活指針となすべく二十六日午後一時から白菊町滿鐵白菊俱樂部に於て日滿商事、特別市公署、電業會社、瓦斯會社、保養院、健全生活館、友の會各代表者を招き「冬の生活座談會」を催した、座談會の結果は不日本紙に連載して一般市民の指針となす豫定である【寫眞は座談會】

千圓紛失

吉野町五ノ一滿鐵社員王江林さんは二十四日午後七時頃新京驛から東五馬路の友人宅までの途中現金千圓在中の財布を紛失青くなつて中央通署に屆け出た

十字堡愛護團員が 皇軍に慰問金

四十一圓余を新京警護隊寄託

連京線沿線鐵道警護團に對する指導普及工作は鐵道警護隊の熱心なる努力により漸次愛路思想徹底して當事者をよろこばしてゐる、之に關しその實例として最近勞働者不足を生じ各種鐵道工事その他水害復舊工事に團員が率先して側面より援助し當局者を感銘さしてゐる折柄十月十八日十字堡愛護團長王明道君は國幣四十一圓六十四錢を十字堡鐵道警護團分所に持參し國境第一線に活躍中の皇軍將兵の勞をおもひ團員百九十名より慰問金を募りたる旨を述べ之が取次方依賴あり分所長はこの行爲を奇特として慰問金と共にその旨新京鐵道警護隊に報告して來たので同隊では二十五日新京憲兵分隊長に依賴し獻金の手續を了したが、如斯自發的行爲は同團員が時局をよく認識せるに依るものと關係者を深く感激し表彰方を申請した

滿人街ボヤ

防火宣傳週間第三日二十五日午後七時半頃祝町四丁目滿人料理店天順班の入口南側室にある電燈線の漏電から發火天井裏を方二尺位黑焦げにしたのみでボーイに依つて消火された

"托兒所"を創設

裏街の救濟乘出

隣保事業助成會活躍

國都の異常なる進展は社會生活に、個人生活に益々複雜さを加へて來た、そこには生活苦に喘ぐ困窮者、或は薄幸な運命に泣く人々の姿を見るのである、かゝる人々を救濟し延いてはそのよつて來る社會的欠陷を芟除せんとして新京にあつては昨年九月市公署內に〃新京特別市隣保事業助成會〃が結成された、同會では生活戰線上よりの落伍者等を收容、亦は救濟せんとする社會的施設に惠まれぬ國都の現狀に鑑みかねて考究中であつた〃托兒所〃の創設に乘り出しこの程關係當局に對し寄附金募集の許可を申請、愈よ積極的に働きかけることゝなつた、即ち托兒所は滿人側にあつては大同大街育英堂、二道河子宏濟院等ほか二、三慈善團體によつて古くから施設され寄る邊ない孤兒三百有餘名をはじめ老人等を收容それぞれ成果を擧げてをり、顧みて邦人側にこの施設を見ず社會生活の複雜化に伴ひこれが施設を痛感されてゐたもので今回隣保助成會の活躍となつたものである、寄附募集金額は約二十萬圓で一部を基本金に一部を托兒所創設費に充て、來年度に實現を豫想され成果を期待されてゐる

醉つて自殺圖る

新發路二二〇松林組社員川瀨新吉さん妻ふさ(四六)さんは二十六日午前三時三十分頃日出町一ノ二滿人旅館福順棧三四號止宿松林組員日下滿男(三〇)さん方で泥醉の上猫イラズを多量に嚥下服毒自殺を圖り苦悶しはじめたので滿男さんは吃驚仰天、新京驛前派出所に知らせるとゝもにふささんを近くの順天醫院に擔ぎ込み應急手當を施した結果銘酊の上服毒したので生命には別狀ないが、自殺原因につき係官が取調べたところふささんは二十五日夜自宅で滿男さん相手に酒を飲み醉つた上一緒に外出、ダイヤ街割烹京花方で看板になるまで飲酒滿男さん方に立ち寄つたもので夫新吉さんは三月初より二道溝へ出張してをり十才になる女子と二人で留守を守つてゐるので何等自殺するが如き事情はないが醉つた勢ひで發作的に服毒したものとみられてゐる

滿洲國初めて來春國寶指定

逸見博士等熱河省を踏査

東洋文化の保護と土民の風敎宣撫に意を注いでゐる民生部では國內各地の古墳史蹟の保存に懸命の調査を急いでゐたが、さきに有栖川宮家の奬勵金を拜して二ヶ年計畫にて熱河省一帶の宗敎、美術調査を行つてゐた立正大學敎授逸見梅榮氏、助手仲野半四郞氏に調査を依囑した、民生部では本調査が十二月中頃終了豫定なので逸見博士等の報告をまち重要美術品には來春匆々滿洲國最初の國寶指定をなすことゝなつてゐるが、熱河省は清朝時代韃靼懷柔の策としてラマ敎寺院を盛んに建立し熱河離宮、ラマ廟等には幾多宗敎美術の粹を蒐めてゐるところだけに貴重な美術の山積を偲ばれ考古學界の注目を惹いてゐる

貧民救濟寄附

二十五日午前中央通署に於て新京

入滿希望者の數

豫想以上に良好

明春學校卒業技術者

【東京國通】滿洲國新興產業の特殊技術戰士として明春四月渡滿する內地各大學、專門學校、工業學校の新卒業生は總動員體制下の使用制限令により厚生省割當の千六百四十二名と窮屈な制限を受けてゐるのだが、應募者銓衡のため出張した黑田技術員協會庶務課長、松田總務廳事務官の兩氏は關係方面と打合せを遂げた上黑田課長は協會東京事務所で自ら采配を振り、求人側各工業會社の人事擔當者を三名宛十班の銓衡班に分け松田事務官がその總元締となつて去る十日以來廿二日まで北は北海道から南は九州の各地に出動、學校當局及び應募生に親しく會見して銓衡を行ひ一先づ東京に歸り廿五日各班は協會事務所に會合して折衝結果の報告を行つた、その報告によると最近の學生の對滿認識は豫想以上に良好で各班員とも厚生省の學校別割當數では新卒業生の入滿希望を到底滿足させ難いと痛感させられ殊に北海道の函館工業學校の如きは五名の割當に廿三名の大量志望者殺到却つて銓衡困難を覺えた例なども披露されこの分では將來の滿洲工業の發展も頗る樂觀出來る等との歡聲が擧げられたが、銓衡を行つてゐる滿鐵、兩社との關係もあるので取り敢へず割當總數の約半數八百餘名の採用を決定し殘りの半數は東京、大阪、福岡、仙臺四市に駐在員を置いて引續き厚生省ならびに學校當局と折衝し至急に決定することゝなつた

防火に就て(四)

首都警察廳保安科長 新京消防後援會幹事長 趙萬斌

八、消火栓及道路を愛護すること 消火栓は喞筒と不可分の關係が有ります、消防署と水道科で年中手入れ致して居りますが、尙不充分な所や手入れの行屆き兼ねる場合も出來ます、各御家庭附近の消火栓の附近に草か生へた時は除草して貰ひたいのであります雪の時は雪を拂つて下さい、世間には消火栓の何たるかを知らず、土砂で埋沒したり材木を置いたり、又は汚物を捨てたりする非常識な人が澤山有ります、消火栓附近三米以內に物を置けば處罰されます 又新京市內には消防自動車の渡れぬ橋や、路面の凹凸の甚だしくて速力の出せぬ所や、春の解氷期より秋の結氷期まで自動車通行不充分な道路も有ります、社會奉仕の意味に於て此等の小修理や除草をやつて、愛護を加へて戴きたいのであります

九、電氣機關室には必ず監視人を置くこと 電氣機關室は監視を嚴重にし、發見し易き掲示をすることが必要であります、消防人の警戒すべきものは電氣であります、消防署員の殉職と謂へば主として感電死であります、高壓線の電線は屋外に於て簡單に出來得る樣に準備して戴きたいのであります、又火災發生の場合には電業營業所に通報することを忘れてはなりません

一〇、訓練の實行 防火訓練も避難訓練も各家庭の重大任務の一つで有ります、今日の時代は机上の空論は許しません、只實行あるのみであります、火災現場に於て罹災者が能く非常識な行動をやるのは豫ねての修養訓練の不足に原因して居ります、何事も繰返し實行し熟練の域に達せられんことを希望して居る次第であります

火災發生に際して取るべき處置

一、沈着冷靜なる事 事に當つて周章狼狽するは大國民の態度では有りません、火事は最初の五分間であります、殊に燒夷彈の如きは最初の二十秒であります、備附のバケツ一杯の水で消へる火も三分、五分後には末廣に擴大して大火災となるのであります、最初に沈着に處理すれば僅少の損害に止め得るのであります

第一回石炭節約强調週間

自十月二十六日至十月三十一日

週間第二日、十月二十七日(金)行事豫告

◎日人汽罐士を中心とする講演と映畫の會 於協和會館、午後一時より

1、講演「生產者の立場から」滿洲炭礦會社調査課長 土橋貞敏氏

2、映畫 日滿商事會社製作「汽罐の焚き方」商工省燃料局製作「淡煙燃燒」其他

尙、先般開催せる汽罐士講習會修了證授與式擧行

◇「汽罐士の立場から」の座談會 於中銀俱樂部、午後四時より

◇日人汽罐士に對する實地指導「機械焚き指導」於市立醫院煖房室、午前十時より

◇ラヂオ放送、午前十時二十分「家庭の時間」日滿商事燃燒指導班 主事 堀 亮三氏

◇ラヂオ放送、午後七時四十分「石炭節約講座第五講」「技術者の立場から」大陸科學院研究室 山崎喜一郎氏

主催 協和會首都本部 新京特別市公署

萬華鏡

新京會館の新人を紹介しやう、先づテイケット賣場から轉向した子、テイケット十枚二圓廿錢、廿錢といふハンパは何だ何、遊興税だ、チエッ、よう言はんわ、なぞとお客から言はれてゐるよりもダンサーの姉さん達みたいに私もイヴニング着てみたいわテナ譯で轉向したのである▼所がこの子、男刈にしてゐるのだが、それが岡本芳チヤンがそのかみキヤピタルにゐた頃の若き姿にとても似てゐるはてなと誰もでが考へる、それもその筈彼女は芳チヤンの實の妹、その名を岡本秀子と呼ぶ、姉妹ダンサー仲良くやつて下さい▼次は寺口美智子さん、生れは確か關西だつたが幼にして大連に移り大連に育つた子、大連會館で働いてゐました、生來の旅行嫌ひなのか或は旅行に行く金が無いのか（失禮、怒ラナイデネ）一度も旅に出たことが無く、今度新京へ來た時始めて汽車に乘つた位、なぞと言ふと話が一寸大きくなるが、まあそれほど旅行が嫌ひだといふ話▼それから大連組ではニユータイガーから瀧口君子孃、まだ來たばかりの新人だからお客が無く、寺口孃と大連組兩人で仲良くサボつてゐる、お客さん達よ、早く行つた方が勝ですよ▼お次は奉天スターからの越智幾代子さん、ダンサー生活に足を入れたのは昭和九年の暮、所は大津琵琶湖ホール、もう五年のダンサー生活だ、それでスレた所の無い良い意味での典型的ダンサータイプ、こゝに御覽にいれる寫眞が彼女であるが、これは彼女が、許可證を貰ふのに寫眞は要るが、寫眞屋へ拂ふ金があつたら白粉か香水でも買つた方が得だと、時局線に沿つて節約主義、事務所の人に寫眞とつてよと頼んで新京ビルのベランダに出て寒いのに我慢して薄いイヴニングでブルく▼取つた寫眞持つて警察へ行つたら「何ダ、似てゐないやないか、一寸笑つてみろ」と言はれ「おかしくもないのに、さうヘラく笑へますか」とは言つたものゝ、まあ結局笑つたら「成程、笑つたら貴女は顏が一寸變る」と無事通過、といふ程表情を魅力的に變化させるといふ彼女の日く付の寫眞なのである

文藝浪曲 酒井雲若 朝日座で再演
岐阜縣人會主催で卅日から

先に滿鐵西廣場倶樂部で開演した酒井雲若は文藝浪曲の新進として雲か雲若かと云はれるだけに浪曲愛好家の絶讃を博した、その後奧地の皇軍慰問旅行を了へ新京通過歸國するを機に雲若の師匠酒井雲出身地、岐阜縣人會は鄕土の藝術家雲支援の意味で本社も後援三十日、三十一日の兩夜朝日座で雲若後援會主催となり開演せしめることゝなつた一行は酒井雲若丸、酒井九洲男、京山春團司、梅中軒鶴童、廣澤晴月、廣澤菊路京山春駒ら、雲若で入場料は一圓五十錢、軍人學生は五十錢各得意のよみものを披露することゝなつてゐる【寫眞は酒井雲若】

洋畫祭消滅

一日替りの洋畫名畫祭興行は近頃では洋畫常設館の弗箱となり、却て平凡な新作封切よりも客足が良く、盛んに各館が試みてゐるがこの名畫祭も愈々本年限りで姿を消す事となつた――と云ふのは「映畫法」第十六條の外畫制限適用により、明年一月一日よりは一館一年五十本以上の洋畫（他館で封切濟の物も含む）を上映する事が出來なくなるため、一週間に七本乃至十四本の作品を要する一日替りの名畫祭などは到底不可能となるわけである、從つて洋畫館では「名畫祭は本年限り」とばかりフアンに呼びかけてゐるので今年一杯は名畫祭大流行と云ふ新現象を展開する事であらう

▽エノケンの頑張り戰術▽

東寶作品「森の石松」に次ぐエノケン主演もので小國英雄のオリヂナルより中川信夫が監督に當つた作品、防彈チヨッキ製造會社々員で犬猿も只ならぬ仲のエノケンと如月寛多の兩人が事毎にいがみ合つてゐる裡に、或る避暑地で拳銃泥棒の出現に出合御兩人力む合はせての大格鬪、遂に泥棒は捕へる仲直りをするはでめでたしくのお笑ひ、宏川光子、小高たかし、柳田貞一の他澁谷正代、香羽久米子が助演する、帝都キネマ廿六日封切

雜音

帝都キネマけふから寫眞替り、「エノケンの頑張り戰術」に獨逸物「囁きの木蔭」を並べた二本立、ウイリイ・フォルスト主演と云ふ他に後者には余り魅力はないやうだ、エノケンにつかない客には平凡な番組である▲新キネも替る、寛壽郎の「鞍馬天狗」と見明、伊澤、花柳、村田共演の白衣に還る銃後の物語りを描いた「光われ等と共に」で日活復歸以來の最大級番組である▼豐劇の方には東寶の「吾亦紅」と下加茂の「曉の旗風」が出で、これは前者の大會が又客足を集めることにならう▼來月三日から帝キネへ德川夢聲、ヘレン本田、丸山章治等のアトラクションが出る

九星

萬十九月廿七日 金曜 丁酉 大安 閉 濃宿 十月五日
東京・本郷・神誠館

● 一白の人　次第に順調の日なれど金談縁談面白からず東と坤と艮が吉
● 二黑の人　何事も面白く順よく運び行く日常業尤も吉巽と丙と庚が吉
● 三碧の人　内を調へば外自から順に走るべし失物注意乾と壬と丙が吉
● 四綠の人　過分の望みを起さず常業を勵めば進展あり乾と艮と壬が吉
● 五黄の人　小資を以て巨利を得る日移轉動土等も吉し西と巽と東が吉
● 六白の人　横道に走りて失敗し易き日萬事手控が安全西と巽と東が吉
● 七赤の人　機運可ならず進も退くも不自由を感ずる日巽と坤と乾が吉
● 八白の人　榮達する日氣心の緩まぬ樣一致して勵べし巽と坤と乾が吉
● 九紫の人　事業の根抵に動搖を來す日愼重に考慮せよ艮と西と巽か吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙 一部五錢 一ケ月壹圓
定價 郵稅 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

けふ武漢占領一周年

【漢口二十六日國通】大別山の嶮を越へて揚子江の機雷原を突破し一路漢口目ざしてわが陸海の精鋭が怒濤の如き[illegible]を行ひ敵の牙城漢三鎭を一擧に占領した感激の一周年記念日が廻り來たつた、想出新な昨年十月廿七日を紀念する武漢百萬の民衆はこ[illegible]を「武漢甦生一周年紀念日」として新東亞建設の希望に當てる一里塚として紀念するのである、建設の一周年を迎へる武漢市民の喜びを象[illegible]が如くこの日早朝より秋空高く「祝甦生」のアドバルーンが揚げられ午前九時より中山公園に一大市民感謝祭を開催、軍樂隊及び青年…市內行進自動車行進、ページェント等と陸に空に豪華な慶祝繪卷を繰り擴げ五色旗と日章旗に覆れた甦生武漢の全市を擧げて今日一日を…一色にぬりつぶす豫定である

國境(滿ソ)劃定委員會 チタで開催に決定

來月下旬 兩國代表折衝開始

去る九月十五日の東鄕、モロトフ協定に基くノモンハン附近滿蒙國境劃定委員會は停戰協定成立後依然モスクワに於て豫備的折衝が續けられてゐるがこの程委員會の設置地點としてチタが選ばれ日滿兩國代表委員會も日本側久保田新哈爾濱總領事、滿洲國側龜山外務局處長及び隨員兩國合せて十名と夫々決定した、なほチタ會議の開催は双方の都合上大體來月下旬となる見込みである

會議の主要題目は右停戰協定において諒解された紛爭地域の國境劃定方針を決定するにあつて、同委員會の手で更に現地踏査その他の方法により具體的に國境劃定が行はれる筈であるが、なほこの外に現地交涉の結果外交交涉に移された事件發生前の抑留者および九月末以來の俘虜と逃亡者の取扱方法等も協議決定される豫定である、チタ會議の前途についてはなほ必ずしも樂觀を許さゞるものあり、會議開催に至らば双方間に相當深刻な論議が交されるものと見られ、又歐洲情勢の發展如何によつてはソ聯側の態度にも若干變化あるべきを豫想されてをり同會議の成否は滿ソ國境今後の動向を決定する鍵として成行を重視されてゐる

【寫眞は久保田日本側委員(上)と龜山滿洲國側委員】

食糧品の給與受くる波蘭兵

日ソ抑留船舶の受渡大部分完了

【東京國通】日ソ間に橫はる諸懸案の解決に關してはかねて兩國間で折衝中のところその一つとして日ソ兩國間において抑留中の船舶受渡についての交涉が順調に進行し相互間にその大部分の引渡しを行つたので右に關し二十六日外務省より大要左の如く發表された

外務省ではわが船舶でソ聯側に抑留せられたるものについてはその都度銳意これが釋放方を交涉中であつたが、敦賀丸および兵庫漁船四隻の乘組員四十八名の身柄は本年三月二日、また朝風丸、旭丸、共進丸、竹丸等の乘組員は九月二十日それぞれウラジオ出帆連絡船で引渡しを受け、他の船體に關しても漸く九月に至り大體解決、先づ九月二十日に長吉丸、共榮丸、十月二十日に福井丸、同卅日に敦賀丸、久寶丸および旭丸の引渡しを實施しその他の船體は修理後引渡しを受ける筈である、唯咸鏡北道試驗船白洋丸についてはなほ同意なきも近日中に引渡しが行はれるものと思はれる、他方ソ聯船にしてわが領海侵犯坐礁等で本邦に抑留されたものゝ一部は既にソ聯に引渡し殘りも近日中に引渡す手筈である

田代外務局次長 きのふ正式に發令

政府は外務局次長の人選斡旋方に就き日本政府と折衝中であつたが、この程正式決定したので廿六日左の如く發令した

天津總領事 田代重德
任外務局次長(簡任一等)

尙田代氏の外務局次長就任は近く開始される滿蒙國境會議に重要意義を有し外務局今後の對ソ外交は注目される【寫眞は田代外務局次長】

略歷

新任外務局次長田代重德氏(四十四歲)は大正八年外交科試驗合格九年東大獨法卒後領事官補(牛莊在勤)外交官補(瑞國、伊國在勤)本省亞細亞第一科(事務官)天津領事、昭和四年九月長春領事、情報部第二課長、同第三課長を歷任、十三年四月駐支大使館一等書記官、天津總領事(二等)より滿洲國に轉じたものである

來月十日頃着任

田代新外務局次長は目下滿蒙國境劃定交涉に關する日滿側の下打合せのため東上、二十八日東京着豫定の龜山外務局政務處長と打合せを終つた上遲くも來月十日頃迄には着任の豫定である

各方面期待

新任外務局次長田代重德氏は滿洲國に重要ポストを占めるいはゆる大正九年組の一人であり滿洲事變當時は長春領事として活躍しその後天羽情報部長の下に情報部第二課長を勤めてその手腕を發揮し支那事變に際しては天津總領事として外國租界問題の折衝、水害對策等縱橫の活躍ぶりを示した滿洲國外務局次長としては最初現漢口總領事花輪義敬氏と共に有力候補者に上つたが結局各種の事情のもとに田代氏の就任をみるに至つたものである、歐洲戰爭の濃化、支那事變の新段階の移行等滿洲國を取卷く外交情勢は極めて微妙なるものがあるが田代新外務局次長の就任は滿洲國の當面する滿蒙國境確定交涉をはじめとし滿ソ、滿支、滿獨、滿伊等多角化せる外交關係の局面展開に多大の寄與を齎すものとして期待されてゐるが就中近く樹立される支那新政權との外交の確立については氏の最近の支那認識にまつものが多いと思はるが外務局が今後最も力を注ぐことゝ豫想される滿洲國の對外宣傳については情報宣傳に練達せる氏の才腕に期待して可なりとされてゐる

國務院辭令(廿五日)

產業部事務官 三輪乙人
任總務廳參事官、敍薦任三等
補法制處勤務

三寒四温

▲「最も多くの最も美しい病院を有する民族が最も健康なのではない、最も病院を使用すること少き民族が最も健康なのである」▲これはドイツ國醫師指導者ワグネル博士が、一九三七年ベルリンで開催された國際醫師再教育會議に於て述べた挨拶中の一句である(櫻澤如一氏著「人間の榮養學及醫學に依る」)が、われわれは今更ワグネル博士に教へられる迄もなく、この眞理をわきまへてゐる筈である▲然るに文化愈々開け國力愈々發展して、ますます病院の施設が整備し充實し、しかもその善美宏大なる病院がどこもかしこも超滿員なのは一體どうしたことか?▲民生の向上發展に政策の重點を指向するといふことは大いに可、さうしてその政策の具體的內容が、病院の增設や、醫科大學の新設もしくは厚生科學院の創設等々であるのも、勿論至極結構である。▲だがこれらの施設や研究をやるにつけても、常にその根本目的を忘れぬように、ほんとうの目標を見失はぬようにして貰ひたいものだ。▲現實世界においては、さしむき醫者も病院も必要である。しかし醫者や病院はそれが不要になることが人間の生活の理想だといふことを念々護持してほしいものだ。▲すでに識者の完備となつてゐるのは、醫學もいはゆる治療醫學から、豫防醫學に進まねばならぬといふことだ。つまり出來た病人それも百人に何人といふ少數を治すことよりも、病人出のない樣に努力すべきだ、まだ病氣にならない多數人を益々健康にするをこそ、眞の醫者の任務だといふのである▲昔から醫は仁術だといはれるが、既に出來た病人を治癒する醫の如きは、いはゞ小仁術で、まことの仁術は病の生じないようにするのでなければならぬ▲況んや此頃の醫者のように病人益々多くして益々繁榮し蓄財するといふのでは仁を去る實に遠い哉である▲しかしこれは醫者だけの責任ではなくて、むしろ大部分は國家爲政者の罪だといはねばならぬ。▲國力の基本であり、おほみたからである國民の生命の問題健康の問題を、自由主義的な開業醫——彼等も自己の計算において醫を業とす以上、その業によつて衣食せねばならぬ——にまかせておくことが殆んどすべての弊害の原因だ。▲厚生政策に眞劍に乘り出すといふならば、この滿洲國の如き新しい土地行きがゝりの無い土地では、思ひきつて眞に國家的全體的な保健制度の確立をやつて貰ひ度いものだ。▲その第一は厚生科學の研究を、ユダヤ的醫學や營養學の後塵を拜することなく、端的にわれわれ東洋人の實生活に即して、最も卑近な基礎的なことから始めることだ。檢微鏡とモルモットだけでいはゆる實驗をやるに止まらず、この生きた人間そのものを直接研究することだ▲その第二は醫者を眞に國手として遇することだ。開業醫を絕對廢止するにも及ぶまいが、原則としては醫者はこれを醫官として國家の公の職とすることだ。さうしてこの醫官も治療よりも豫防に重點をおき、本質的には國民の生活指導官とすることだ。

全聯事後處理幹事會

會員代表も參加し 來月上旬より開催

多大の成果を收めて終了した來年度協和會全國聯會協議會の決議事項事後處理問題については聯協科が中心となり、これが徹底的解決に乘り出すこととなり準備を進めて來たが、この程政府この打合はせを終了、十一月六、七日頃に第一回本年度全國聯合協議會事後處理幹事會を開催し得る運びに至つた、なほ本年度幹事會は前年度全聯處理幹事會の實績に鑑み、更に一層の効果を期して新工夫をこらし、幹事會には會員代表をも參加せしめ、協和會職員が中間に立つて政府との間に充分なる協議理解をとげしめ得るやう考究中であるが、幹事會は來年度全聯開催迄間斷なく實施されるので隨時幹事會の內容を改良し、これが機能の完全なる運營を期してゐる

全滿稅務協議會

全滿都市稅務協議會は二十六日午前九時より安東協和會館に於て開會、全國各市稅務科長及安東市より都富市長、中央より各關係官出席、山口安東市稅務科長開會を宣し都富市長の挨拶あつて議事に入つた、提出議案二十一件の外文書議案十八件ありうち主なるものは

一、電燈電熱消費捐新設に關する件(牡丹江市提出)二、觀覽捐率改正方要望の件(四平街市提出)三、電々會社の電柱に對する道路使用料徵收方要望の件(齊々哈爾市提出)四、遊興飲食稅の課稅方要望の件(齊々哈爾市提出)五、藝妓酌婦女中捐新設に關する件(遼陽市提出)等である

五萬の敵匪を猛攻

山西の山嶽地帶に壯烈な殲滅戰展開

【太原廿六日發國通】連枝山脈の要衝蒲縣南北の線に辛ふじて餘喘を保つてゐる陳長勝の山西第六十一軍を擊滅したわが三原、杉浦、清水、井上の各部隊に廿四日更に黃河の線に向つて一齊に猛擊の火蓋を切り敗走する六十一軍ならびに彭 斌麾下山西第三十四軍計五萬の敵匪の死命を制すべく峨々たる峻嶮を攀ぢつゝ隨所に壯烈極りなき山嶽殲滅戰を展開してゐる、即ち双池鎭附近を進發した三原部隊の精銳は三方面より磧口鎭(双池鎭西方三十キロ)目がけて包圍體勢をとりつゝ進擊し廿五日正午同地に進出、杉浦部隊も同時に隰縣に達し引續き敗敵を急追中、一方蒲縣を出發した清水部隊は廿四日午後四時同地西北二十二キロの午城鎭に進出、井上部隊は廿五日かつての閻錫山の本據吉縣に向け破竹の進擊を續けてゐる、戰果目下調査中であるが甚大なるものありと見られる

英ソ通商協定再開か

ソ聯大使、英外相要談

【ロンドン二十五日發國通】マイスキー・ソ聯大使は二十五日午後外務省にハリファックス外相を訪問、要談を遂げたが、バトラー外務次官は二十五日下院において英ソバーター協定を擴大すべく英ソ通商交涉を再開する用意ある旨を言明してをり二十五日のハリファックス、マイスキー會談は右交涉開始と關係あるものとして重視されてゐる

訪獨經濟使出發

【モスクワ廿五日發國通】デヴオシアンソ聯造船工業人民委員を首班とする四十五名のソヴエート聯邦訪獨經濟使節團の一行は豫てからモスクワに於て進行中の獨ソ通商交涉に基き、ドイツの對ソ輸出品につき具體的取極めを行ふべく二十五日夜モスクワを出發ベルリンに向つたが更に十五名のソ聯委員は廿五、六の兩日に二班に分れてベルリンに赴く筈

日英友好 英、促進を要望

【ロンドン廿五日發國通】保守黨下院議員ロバート・モーガン氏は廿五日下院において相互主義の基礎に基き友好關係を促進する見地から英國政府は英國の權益に關聯し日本に如何なる讓歩を提案してゐるかとの質問を行つたが、これに對しバトラー外務次官は文書をもつて英國政府においては未だ何等の具體案をも提示してゐないが、日英兩國間の友好關係促進を要望してゐることには終始變りがない旨回答した、バトラー次官の言明によつて明かな通り、英國政府は國際政局の推移に鑑み日英兩國の關係改善を希望しクレーギー駐日大使に善處方訓令するとゝもにバトラー次官も右問題解決のため頗りに努力してゐる、過般揚子江から英砲艦五隻を引揚げた措置に關しチヤーチル海相は廿五日下院において「これは他に轉用するがためである」旨回答してゐるが、これは砲艦船足の關係上他の海面に利用出來ぬ事實に鑑み日本政府に對する一ゼスチユアと解すべき理由がある、更に英國政府は天津問題に揚子江の航行問題が解決されれば支那駐屯軍を撤收するに吝でない模樣である、天津問題については二十日重光駐英大使がハリファックス外相と會談、特に現銀の處分については瀬踏的に意見を交換したが、重光大使の現銀の引渡しを要求したのに對しカドガン外務次官以下英國外務省當局は依然右現銀は蔣介石政權に歸屬すべきにあるとの見解を持して讓らず、結局英國政府は大局的見地から現銀を封印して中立國の銀行に供託する妥協案を考慮することにならう、これが爲今後の交涉は主として東京における野村外相並にクレーギー大使との會談に俟つ他なしといふ有樣である

總服役 初審議會開く

政府はさきに國土防衛の完璧を期するため國民總服役制度を確立實施することゝなり、これに關する政府聲明を發表したが、同制度實施のための兵役法ならびに公役法の制定ならびにそれに伴ふ國籍法、民籍法の急速なる制定公布等國民總服役制度實施促進に關する官民合同の一大委員會を設置することゝなり、「人民總服役制度審議委員會」としてその第一回初顏合が廿六日午前十時より日滿軍人會館において開催された

同委員會は國務總理を委員長に治安部、民生部兩大臣並に次長その他政府首腦者間有力者を網羅、總服役法公布を前にして萬全の對策を樹立することゝなつてゐる、第一日は初顏合せの程度に止つたが、第二日の廿八日は同會議室において幹事會を開催、具體的審議の段取りに入ることゝなつた

陸大校長發令

【東京國通】陸軍省發表=今般左記の通り發令せられたり

參謀本部附陸軍中將 藤江惠輔
補陸軍大學校長

陸軍士官學校生徒隊長 陸軍少將 赤柴八重藏
補陸軍士官學校幹事

陸士生徒隊長に小薗大佐

【東京國通】
陸軍士官學校教官 步兵大佐 小薗江邦雄
補陸軍士官學校生徒隊長
步兵大佐 東海林俊成
補仙臺區聯隊司令官

防共懇談會終る

【東京國通】亞細亞防共懇談會東京大會は廿五、六の兩日に亘つて行はれたが參加各國代表の眞摯な討議の結果、防共に關する今後の運動につき原則的大綱案を決定午後四時盛會裡に閉會した、この結果右懇談會を恒久且つ國民的國際協力機關とすることゝなり總本部を日本に他の參加國にそれぞれ本部を設置し相互協力により防共の目的達成に邁進することを申合せた

社說 諸國外交方式の差異

もはやヒトラー總統は長期戰を覺悟したものと考へられる。しかし獨逸からの報道によれば、同總統は戰爭を續けつゝも、和平解決の希望を棄てずつねに交渉の方式を存置して行く方針だといふ。この故に自國兵に多くの犧牲を出すことを避け、また英國への攻撃にしてもロンドンを猛襲するが如きことはわざと行はないでゐるといふ。これは一つには自國民の信頼を愈よ强めしめるためであるとともにまた英國民が異常に反獨熱に驅り立てられることを避けようとしてゐるものであらう。この獨逸の「平和主義」はまことにもつともなことである。何となれば鬪爭は攻撃によつてではなく、防禦者側に於ける抵抗によつて起されるものであるからだ。「侵略者はつねに平和主義である」といふ言葉があるくらゐだ。

イデオロギーの部門が近代戰に於いて戰爭準備の最も重要な部門の一つである。獨逸にしても英佛にしても、國民のどれだけが四分の一世紀前の凄慘な殺戮の繰り返しを欲したらう。

ソ聯は獨逸との間にあのやうな密接な關係を突如としてつくつたが、しかも英國とは通商協定を結ぶといふやり方である。他方バルチック三小國を屈服させフインランドに壓迫を加へてゐる。仲々の活躍振りである。これを資本主義國間の對立を利用する彼の常套手段といふものであらうが、今度はソ聯自體が少くともその外交振りに於いては資本主義國的に、帝國主義的になつたのではないか。最初英佛側からの誘ひをしりぞけて獨ソ協定の方に飛躍するには仲々の決心を要したことでもあつたら、自然な方向であつたとは今にしてはじめて言へることなのだ。ソ聯の外交は老獪とも巧妙とも見えるナチスの外交も大體に於いて甚だ巧みであつた、しかしこの兩者に見られる共通性は彼らがいかに虚言を吐き或ひは恫喝的に出ようとも、その本心はつねに明らかであるといふことである。甚だ正直なものだといふ印象を受けるのである。これに比べれば、英國の如き、たとへ胸襟を開いて相對してゐてもなほ讀み切れない何ものかを持つてゐるやうなところがある、これは種々の事情よりして英國の行き方が本質的に便宜主義的なもの、妥協主義的なものとならざるを得ないところから來てゐるのであらう。かの伊太利のエチオピア攻略、またスペイン內亂の場合にとつた理想主義の看板と現實との食ひ違ひの悲喜劇に見られた通りである。今は獨逸の急進出によつて著しく反獨的な氣分になつてゐるやうだが、今後事態の推移につれて英國の意向が變化せぬとは誰も保證出來ぬであらう。

開拓團用物資に日本で持例實施

對滿輸出統制を緩和

九・一八物價停止令に伴ひ日本側では對滿輸出に對し過去三ヶ月の實績を基準とする輸出統制を斷行した結果大量に輸入を必要とする開拓地送り物資については極度に入手窮屈となり、開拓政策遂行上頗る憂慮されるの事態に立ち至つたのでこれが善後處置につき關係方面で對策が講ぜられてゐたが、この程商工省との間に諒解成立、開拓團に對する物資については輸出統制緩和が講ぜられることゝなつた

即ち商工省では省令五十三號を以て九月廿五日以後の海外輸出物品の統制を斷行、輸出物資の輸送は輸出組合の認可事項となつた結果、開拓團について要する生活必需品、建設用材、營農機具その他萬般の開拓用具は全部對日供給に仰いでゐたので入手不圓滑となり開拓國策の圓滿進捗を阻む事態に立ち至つたゝめ滿拓が中心となり在滿關係方面とも協力、商工省に對し開拓團供給物資については特別考慮をなすべき旨の交渉を行つた結果、商工省においても開拓國策の重要性に鑑みこの程開拓團向け物資については特別取扱をなし、輸出組合を通ぜざることゝし稅關通過に當つても特別處置を行ふことゝなつた結果、開拓團物資は從前通り入手確實となり、憂慮された開拓國策支障問題も全く氷解するに至つたものである

滿洲炭礦社債

【東京國通】滿洲炭礦第一次社債一千萬圓の發行條件は廿五日興銀から左の如く發表されたが、內公募は七百萬圓、親引は三百萬圓である

△發行金額 一千萬圓(社債總額金一億四千萬圓の第一次發行分金五千五百萬圓の內)
△利率 年四分三厘
△發行價格 額面百圓につき金九十九圓五十錢
△償還方法及期限 十ヶ年、但し二ヶ年据置後毎半年金三十萬圓以上を償還、又は買入銷却し、期限までに完濟
△擔保 同社所有礦業財團
△申込期間 十一月一日より同月四日まで
△拂込期限 十一月十五日
△受託會社 興銀
△募集の委託を受けたる會社 興銀(代表)正金、朝鮮第一、三井、三菱、安田、第百、住友、三和、野村の各銀行、三井、三菱、安田、住友の各信託會社

大角大將 米海軍と交驩

【ニューヨーク廿四日發國通】ワシントン訪問を終へてニューヨークに歸還した大角大將は、若杉總領事斡旋の下にワルドルフ・アストリア・ホテルに於て廿四日午後五時からカクテル・パーティを開き米國第三海軍區司令官ウッドワード提督をはじめニューヨーク地方の海軍高官連三十名を招き交驩を遂げた

共產黨運動抑壓へ

重慶當局遂に乘出す

【香港廿五日發國通】重慶來電によれば重慶委員會は最近の國共兩黨間の關係惡化に鑑み、西安行營赴任の蔣鼎文及び甘肅省綏靖主任朱紹良に密令を發て北部陝西及び山西における共產黨の運動に對して嚴重警戒するやう命じた、地方各省の軍當局もこの旨を體し、共產黨の運動に對してはいづれも强硬態度をもつて臨んでゐる、國民黨中央黨部も共產黨地方組織の擴大强化の可能性ならびに地方共產黨員の活動に對し極度に神經質となり、地方の軍政等各當局に對し護照を所持せざる共產黨員の長期旅行を取締るほか、あらゆる過激或は不法行爲に對し抑壓をなすやう命じたといはれる

國有財產管理打合會議

國有財產管理に關する中央地方の事務打合會議は二十六日より三日間に亘り經濟本部に於て行はれるが第一日は本部側よりは靑木金融司長、山田管財科長その他關係官、地方側よりは各稅務監督署國有財產科長並に事務主任等出席の下に午前九時開會、靑木司長の訓辭があつて後議事に入り本部の諮問事項たる本年度歲入狀況、雜種財產管理狀況、明年度新規計畫事項につき地方側の答申に基き協議をなした、尙二十七、二十八の兩日共前日に引續き午前九時より會議を續行、本部側指示事項その他本部並各署提出の協議事項につき審議することゝなつてゐる

文武官六百餘名 定期敍勳

【東京國通】畏き邊りでは安藤中將以下四千六百廿八名の文武官に對して廿六日定期敍勳の御沙汰あり、在京の宮城法相、渡邊樞密顧問官、岡田氣象臺技師、村上元樞府書記官長に對し親授式が行はれた定期敍勳中主なるもの左の如し

授旭日大綬章
陸軍中將 安藤利吉
樞密顧問官 子爵 渡邊千冬
氣象臺技師 岡田武松
司法大臣 宮城長五郎

敍勳一等授瑞寶章(各通)
陸軍中將 谷口元次郎
同 荻洲立兵
元樞府書記官長 村上恭一

敍勳一等授瑞寶章(各通)
拓務大臣 金光庸夫
陸軍々醫少將 宮城篤珍
陸軍少將 中川廣
同 片村四八
同 水原義重
陸軍中將 田尻利雄
陸軍々醫少將 石原莞爾
陸軍少將 毛利晃
同 牟田口廉也
同 遠山登
同 木谷資俊
同 岡田資
陸軍中將 大木堅造
同 瀨谷啓
內藤正一

敍勳二等授瑞寶章(各通)

英こそ平和攪亂者

獨外相英國を集中攻擊

【ダンチッヒ廿四日發國通】リッベントロップ演說の主旨は老獪英國の攻擊に集中されたが其內容つぎの通り【寫眞はリッベントロップ獨外相】

□ □

ポーランドに保障を與へポーランド國民の盲目的愛國熱を煽動して戰爭に導きまたフランスに戰爭を押しつけたのは英國である、英國が戰爭を欲してゐたもう一つの事實は九月二日ムッソリーニ首相並に十月六日のヒトラー總統和平提案を拒絕し戰爭の理由をつくるため猛烈な反獨宣傳を行つてゐたことによつても明かである、英國の戰爭煽動者どもがドイツの目標は世界制覇にありとなすが如きは不遜極まる態度である何故ならば四千六百萬の英人は全世界の陸地の四分の一以上に當る四千萬平方キロの土地を有するに對し八千萬のドイツ人は僅かに八十萬平方キロの土地を有するに過ぎない、世界の如何なる個所にも英國旗の翻らぬ土地はなくしかもこれは土着民の意思に反して英國が占有し容赦なき搾取を續けてゐることは英帝國の侵略主義の實體を如實に物語るものである、ドイツの目標はドイツ國民の生存並にその將來を確保するにある、然るに英國政府は英獨兩國の戰爭を期してゐる若し英國がかゝる政策を今後も續行するとすればそれこそ英國民自らのためにもはたまた人道のためにも犯罪的行爲で彼等は英帝國の墓穴を自ら掘ることゝなららう

チェンバレン首相はヒトラー總統が國際取極めを破つたと非難してゐるがチェンバレン首相のかゝる態度こそ正に僞善そのものである、即ち國際不信の張本人は英國自身である英國が國際間の約束を破つた例はつぎの多きに達してゐる

一、一九一五年のロンドン密約において英國はイタリーに對し英領東アフリカのジュバランドの沙漠地方を割讓する旨約したがこの約束は遂に果されなかつた

一、一九一五年英政府はパレスチナを含むアラビア人獨立國家の新設を約したがかゝるアラビア人獨立國家は成立しなかつた、更に英國は大戰中ユダヤ人の歡心を買ひ米國を參戰させる目的の下にバルフオア宣言を發してパレスチナをユダヤ人國家とする旨約束したのである

一、一九一七年英國はインドに對し完全なる自治を約したがインドが今日に至るも若干のとるに足りない讓歩を得たのみで依然英國の屬領たる地位に置かれてゐる、英國政府は更に最近新しい約束をインドに與へたがこれも例により破らるゝことは必至である

一、英國は嚴肅なる誓約を無視して總額百億マークの米債を支拂はないのみか更にまた米國に對しクレジット供與方を要求してゐる

一、チェンバレン首相は彼自身の要求に基き昨年九月三十日ヒトラー總統との間に協定を締結し英獨兩國は今後絕對に戰爭を行はぬ旨の希望を表明したが、今年九月三日に至るや對獨宣戰を布告しミュンヘン協定を廢棄した一九一九年の平和條約は英國の犯した最大の對獨裏切りであつたかくの如く英國は飽くまでドイツと戰はんと欲してゐるのである、今やドイツはこの挑戰に應じ英國の好戰者流がドイツに强ひた戰爭を最後まで遂行し歐洲におけるドイツ帝國の安全が與へられ且つ今次のやうな侵略が再度惹起されぬ保障が確立されるまでは斷じて鋒を收めぬことを闡明するものである

獨軍の攻勢を豫告

リ外相演說に英軍事批評家觀測

【ロンドン廿五日發國通】リッベントロップ外相の演說に關し廿五日英國軍事批評家は恐らくドイツ軍の攻勢を豫告するものであらうと次の如く觀測してゐる

リッベントロップ外相の演說はドイツ軍の攻擊の可能性を示唆するものである、勿論降雨はなほつゞき河川の氾濫、土地の浸水はやまぬにしてもドイツ軍の攻擊は依然可能である、ドイツ軍の指導官たるにしてもジークフリート要塞線に集結された多數の部隊を何時までも狹いところにおしつめておくわけにはゆかず、戰ふか、後退せしめるか何れかに決定せねばならないであらう

輸出入植物の取締機關設置

三ヶ年計畫で實施

政府は農產物增產計畫遂行に邁進しつゝあるが、年々病虫害のため多大の損害を受けつゝある現狀に鑑み、これが病虫害の豫防には凡ゆる對策を講じつゝあつた所、今回これが對策の一つとして輸入種苗その他一般植物に附着混入したまゝ輸入されることにより蒙る農作物の病虫害被害を豫防するため、輸出入植物取締機關を設置することになつた輸出入植物取締機關がないため病虫害の被害を受けたことは世界にその例頗る多く、輸出植物についても外國よりその取締機關設置を要望されてゐたもので、同機關の設置は國內問題としてのみならず、國際的にも重大な關連を有するため當局は急遽設置を決意することに至つた設置計畫は來年度を第一年度として三ヶ年計畫をもつてこれを完了するもので

△第一年度 隣接各國の同種機關に關する調査、機關の設置地點を決定するとゝもに植物取締委員會を設置し取締法、機關官制等の準備をなす
△第二年度 取締法、官制等を制定するとゝもに輸入禁止植物等を決定する
△最終年度 取締檢查所を完成、取締病虫害の研究所を設けて恒久的施設をなす

等の計畫であるが、これが取締機關には產業部が當る模樣で、各地農事試驗場がその一翼に參加するものとみられるが、その成果には多大の期待をかけられてゐる

聯銀基礎益す鞏固

實蹟に觀る本年度決算

【北京廿五日發國通】中國聯合準備銀行では廿五日午後五時より臨時政府財政部において本年度上半期決算を發表席上王子惠總裁より說明を行つたがその內容をみるに、銀行券發行高は昨年來現在の一億六千二百萬圓より約一億圓餘を增加して二億六千四百萬圓に達し着々國內通貨としての基礎を鞏固にしてゐることを示しその他主要科目について見れば本期末における貸出高は一億百萬圓と前期末に比し八千八百萬圓を增加し預け金は七千九百萬圓と四百萬圓を增加し一方預金は一億六千萬圓と七千五百萬圓を增加しまに送金爲替取組高は四億三百萬圓支拂高は三億九千八百萬圓と前年十月に比しそれぞれ七割以上を增加してゐる、更に注目すべきは本年三月十日の爲替集中制實施により貸借對照表中に買入外國爲替ならびに賣出外國爲替の兩科目が設けられたことである

北支に關する限り通貨變更なし

デマ紛粹のため王總裁言明

【北京廿五日發國通】汪精衛氏を中心とする新中央政權樹立工作の進展とゝもに、北中南支を通ずる通貨制度の統一が要望されるに至つたが、これに關聯して種々臆測をなし甚だしきに至つては北支においても聯銀券に代るべき新通貨を創造するのではないかとのデマまで傳つてゐるので、王總裁以下中國聯合準備銀行當局者は二十五日本年上半期の聯銀決算を發表し「北支に關する限り通貨政策には何等の變更を行はぬ」旨を言明し北支の國幣は依然聯銀券たる旨を明かにした、この聯銀當局者の言明は北支において聯銀券が既に牢固たる地盤を占めてゐるに對し中南支においては圓ノート、軍票、華興券等が法幣と入亂れて血みどろの通貨鬪爭を續けてゐる現下現狀においては聯銀に關する各種の疑惑を一掃するに足るものとして極めて注目を惹いてゐる

海鷲、四川省空襲

【上海廿六日發國通】艦隊報道部廿六日午前十時發表=海軍航空隊の精鋭は大擧して廿四日深更折柄の月明を利して遠く四川省に突入、遂寧において同地飛行場およびその周邊の大軍事施設および貯油庫等を爆擊し、更に奉節および巫山において敵軍事據點に全彈を集中攻擊し何れもその大半を爆破せるほか數ヶ所より大火災を生ぜしめ全機悠々歸着せり

滿洲產業創立披露

滿洲國農村振興副業勵獎をはかり國內包裝材料の自給自足を目的としかねて一般藁工品の生產獎勵配給圓滑の任命を果すため資本金百萬圓の滿洲產業株式會社創立され來る二十八日午後六時半新京ヤマトホテルで披露を行ふ、因に同社の陣容は左の如くである

取締役會長橫田章△取締役社長木村球四郎△常務取締役井本傳次△常務取締役中村信△取締役世良一二△取締役鹿子木魁次△取締役紫村勇△取締役大野萬夫△常任監查役瀨戶主計△監查役門倉淸祐△監查役木村房五郎△支配人最首龜太郎

商況 二十六日 後場

各地株式市況

●大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]

手形交換高(二十六日) [illegible]

支那國論の二大轉換 (一九)

葉言妻語 佐藤膽齋

孫は支那民族が二十年三十年の久しきを經て依然四億萬人の數を超過せざるのは外來勢力が支那民族を壓迫するためなりと前提し其例として外人が恣まゝに租界なるものを支那領土內に置きて治外法權なる特別政治の下に自國民を保護し、支那民族を壓迫するのみならず廉價なる原料を支那より買付け高價なる加工品を賣付ける貿易の爲め支那の硬貨は悉く外人の金庫に流込んでいふ、この狀態は支那が世界列國と通商條約を締結してから今日に至るまで繼續して來れるものにして苟くも此狀態を革新すべき機會の到來せざる間は未來永劫支那民族は外力の壓迫下に血のなくなるまで搾取せらるゝであらう、故に支那民族にして世界と比肩すべき一等國の地位を獲得せんとの自立心あらば一日も早く此の外力の壓迫を排除すべきである、外力壓迫の排除は支那民族が生死關頭の問題であることを忘れてはならぬ云々が卽ち民族主義を說ける大眼目となつてゐる、

以上の論旨は槪して外力の壓迫と稱し時に某々國と名稱は擧げてないのである、上海稅關のエーローブックを一覽しても孫の言は尤至極の事であつて苟くも支那民族の感奮興起を促さんとする者はこの位の事は誰しもいふ所である

□ □

然るに這般の意義を十二分呑込んでゐる蔣介石は三民主義の宣傳に努むるやこの外力の壓迫なる言葉を拉し來て全部日本の壓迫といふ事にして了つた、支那には一千五百年前より變本加厲といふ語がある(梁の昭明太子が文選の序にかいた語)この語は其初文藻の時代を逐ふて作者の用筆に變化の生じた事をいふたのであつたが、後世は之を政治の方針が本を忘れて苛刻の一方に趨くことに使ふやうになつた、蔣介石の宣傳した三民主義は卽ちこの變本加厲の活きた標本である。

彼れ介石は對內問題の一統を企圖すると共に其敵愾心を全部日本の方向に猛進せしむべく夜を日に繼いで日本の壓迫を國民に妄誣し日本人の血を喚び日本人の皮をしきねにすべしと煽動した、南京政府成立以來有名な開港場よりも奧地へ進め僅進むほど排日抗日が猛烈だと我が國人は驚いてゐたが、事實純朴なる田舍の人々は老頭兒より小學生徒に至るまで其すべてが蔣の抗日宣傳に魅了せられて世界の中に日本ほど暴戾を挊ふて支那を侵略する國はなく日本人ほど暴行を逞ふして支那人を脅迫する者はないと信じて了つたのである、

□ □

今に於て之を回顧すれば私共は殆んど戰慄を禁じ得ざるまでに蔣の惡辣手段に憤激の血を湧かすのである、光緒の末年に於ける師日親日の議論が僅々二十年にして斯くまでも玄黃其位を易へ冠履顚倒せるやに想到する時は實に人心ほど其指導者の如何により轉變窮りなきものはなく堯舜興れば民皆善を爲し幽厲興れば民皆暴を爲すとの格言を思浮べ轉た感慨に堪えざるものがある、

支那の國論此の極に至りては到底文告忠言の力を以て其觀念を是正する事は出來ぬ、私は北支事變の勃發など我國が能くもあれまで堪忍してゐたものだと感心してゐる位である、支那の實情を知れるものは遺恨十年一劍を磨いてゐた、但し支那を愛し支那人を愛すればこそである、彼をして事こゝに至らしめた蔣介石と其同腹の惡魔を誅して民を安んじ國を定めんが爲めである事は勿論である、この心は日本人全體の心であつて私一個の心でない

□ □

さて支那大陸に於ける新秩序の建設も汪兆銘の提唱が漸次に具體化し來り南北新政權の合流時期も近づいて來た樣であるが唯一の問題は建國の精神と國民の指導原理である仄かに聞く汪は周佛海に內命して三民主義の修正とやらを遣らせてゐる云々と馬鹿も休み休みいふべきである、曾ての三民主義は決して孫中山が大支那一統の理想なり經綸なりを說いたものではない、謂はゞ廣東籠城中の國民への刺戟劑であつて衰弱せる病人に飲ませたまむし酒に似たものである、最初から處方も間違つてゐるし分量も局法に合つては居らぬ、此の有害なまむし酒を薄めたり二三の補助藥を調合したりすることは今正に呱々の聲を揚げた嬰兒の生長には百害ありて一利なきものである、汪にして之を悟らず我にして之に與みせば其れ此の聖戰の意義精神を奈何せむや(終)

以上を前篇とし後篇は筆を改めて讀者諸賢に與へ誨正を仰がんことを期す

大東港の築港

愈よ本格工事へ 建設總署新設さる

東邊道の資源開發と呼應して鴨綠江河口に建設中の大東港築港計畫に關してはその後滿洲國政府と日本政府との間に勞力、技術その他事務的方面に亘り相互協力を行ひつゝあつたが、このほど全く折衝まとまり、こゝに滿洲國唯一の不凍港「大東港」の築港建設が本格的にスタートすることゝなつた、これがため滿洲國政府においては同計畫の綜合的遂行を期し滿鐵との一體化の下に大東港建設總署を設立建設事業を管掌せしめることゝなつた

同港の築港計畫概要は建設期間八ヶ年、一億一千四百六十萬圓の工費により埠頭延長四キロ、呑吐能力二百萬噸四千噸級船舶の接岸も可能といふ眞に東洋一を誇る大築港計畫で、更に臨港工業地區を重點とする五千萬平方米と人口四十萬とを目標とする大工業都市計畫も目論まれてをり一日廿一萬噸給水能力を有する工業用設備も完備するのみならず鴨綠江の豐富なる電源による低廉なる電力供給も實現するので產業五ヶ年計畫遂行途上にある滿洲國にとつては錦上更に花を添へる國家的大事業として多大の期待が寄せられてゐる

國防皇軍慰恤獻金品(本社取扱)

一金五萬七千七百九十五圓六十三錢(關東軍司令部)
一慰問袋千三百九十五個(同)
一金七十四圓三十五錢軍用家畜慰問金(同)
一金三百圓也(國防館基金へ)
一金五千八百十三圓六十八錢(駐滿海軍部へ)
累計六万三千九百八十三圓六十六錢
……十月二十五日迄の分……

青少年義勇隊から 技術界へも進出
先づ人造石油へ尖兵

若き大陸開拓の戰士として日滿兩國民の衆望を擔つて渡滿した青少年義勇隊は專ら大陸の土の開拓を目指したものであるが、大陸開拓の眞義必ずしも土の開拓に限らず、產業工業、全般に亘る開拓者たるべしとの見地から、豫てより義勇隊の少年中特に技術方面に優れたる者は技術家として開拓者たるの榮譽を擔はしむべく本年より新設された小訓練所移行の隊員を甲、乙、丙の三種に選拔甲、乙は未來の大陸鍬の戰士、丙種は未來のハンマーの戰士として養成中であつたが愈々近く右技術戰士が街頭に進出、毛色の變つた大陸少年尖兵が生れることになつた、即ち昨年入滿既に一ヶ年の基礎訓練を終つた約一萬七千の義勇隊は鐵路護衞の挺身隊となる者は鐵道自警村訓練所に、土の開拓者たるものは甲種或は乙種に選拔小訓練所に入所したが此の外技術關係方面の義勇隊員約五百余名が別個に選拔され、技術的基礎訓練を受けつゝあつたが、本年創設された吉林人造石油に右五百余名の少年達が日滿初の鑛工義勇隊となつて入所することに決定、同社が創業開始に至る迄の三ヶ年間にみつちりエンジニヤとしての腕をみがき上げ、技術的方面における開拓者の先鞭をつけることゝなり、各大訓練所より選拔された鑛工義勇隊は近く吉林に向ふこととなつた

て得と金で新天地、平康里等の紅燈街を轉々と豪遊してゐたものと判明したが目下余罪取調べ中である

こゝにも一人

市內三笠町三丁目十七番地新京館に連日の樣に宿泊する一半島人に不審を懷いてゐた順天署李刑事は二十四日本署に連行して取調べた、結果朝鮮黃海道載寧郡載寧邑生れ住所不定金德根（二二）で左の如き犯行を自白した

本年五月十三日午後四時頃大同大街鑛業開發會社前に置いてあつた自轉車一臺八十圓を竊取、同月二十三日午前七時半頃曙町三丁目二十七池畑自轉車店に侵入、自轉車の附屬品四百圓を竊取、いづれも新立屯二條胡同三興商會前にて住所不定の滿人に賣却してゐたものである

おらが國さへ報告
各訓練所から代表派遣

滿洲の大曠野に開拓の鍬を振ひ若き血を沸かす小開拓士は昨春の渡滿第一陣以來既に三萬五千人を數へ青年義勇軍の誇りも雄々しく邊境第一線に活躍してゐるが、これら拓士が現地にあつてどんな考へ方をしどんな生活を送つてゐるか、この實相を故國の親許に「口から耳へ」の報告をさせると同時に一般の大陸認識を昂揚させやうと滿洲拓植會社では滿拓公社、拓務省後援の下に全滿四十八ヶ所の青年義勇隊訓練所から成績優秀なる訓練生中から各道府縣一名宛計四十七名を選拔、これを二十四班に分ち來る十日新京驛發列車で一齊におらが國さへ急がせることとなつた、尙一行は十一月十四日東京着、拓務省の打合歡迎會に出席のち、十五日故鄉へ歸國させ約一ヶ月に亘つて開拓地事情を隈なく紹介して十二月十四日拓務省に集合お國土產を披瀝する報告會に臨んだうへ第二の故鄉各訓練所へ歸滿する豫定である

友邦の教育視察
兄貴分の日本から來滿

新興滿洲國の教育施設並に狀況を具さに視察すると共に大陸に對する認識を深めるため帝國教育會理事武部欽一郞氏を團長とする一行十三名の教育視察團が、二十七日午後九時東京を出發、奉天、新京、哈爾濱の各地を視察するが滿洲における日程並に視察團員の氏名は左の如くである

△日程　三十日（奉天）神社參拜、英靈參拜、傷病兵慰問、日滿兩學校（大中小各一校）社會事業見學、北陵見物、教育者側と懇談、卅一日（新京）神社參拜、忠靈塔參拜、關東軍司令部訪問、張國務總理へ文部大臣のメッセージ傳呈、民生部訪問、南嶺戰跡見學、一日（新京）興亞奉公日につき神社、忠靈塔參拜、日滿各學校參觀、滿洲帝國教育會及び教育者側と懇談、二日（哈爾濱）開拓義勇軍訓練所視察、橫川、沖二氏遺跡見學、學校視察、教育者側と懇談

△團員名　團長　帝國教育會理事武部欽一郞、同櫻井伊兵衞、長岡市學務課長、寄木覺治、岐阜縣教育會主事大野丈助、福岡縣伊崎須尋常小學校長、篠崎九平、滋賀縣鄉里尋常高等小學校長中川原全人、山口師範學校々長、苫瓜惠三郞、埼玉縣大宮尋常高等小學校長、初野滿、小樽市景德女子尋常高等小學校長、羽下靜吾、熊本中學校々長、福田源藏石川縣教育會理事、三島理保、宮城縣教育會理事矢內竹三郞

尙一行は滿洲視察後四日北京着、濟南、徐州、南京、蘇州上海の支那各地を視察する事になつてゐる

興亞の代表入京

二十五日より東京で開催された亞細亞防共懇談會メンバー八ヶ國代表は二十四日午前十時四十五分東京驛着列車で晴れの入京をした

二千六百年祝し 滿洲博物館を寄附か
協和會本部で考慮

盟邦日本の紀元二千六百年記念祝典に對し、日滿一德一心の本義から協和會機構を通じ國家的、國民的祝意を表すことは過般開催された全聯協議會において全國各省代表の滿場一致の贊意を得て協和會中央本部に一任の形となり、目下本部においてこれが具體案につき種々硏究中であるがさきに日本側から右祝典に關し表明された關東州を含む全滿から約二十萬圓程度の寄附をされたいとの申入れは日滿不可分の固き樞軸に立つ滿洲國としては餘り徵少に失するとの建前から右の申入れは勿論應諾するとゝもに更に進んで國民運動として全國民の赤誠に訴へ橿原神宮に滿洲物產館を獻納するか或は東京に滿洲博物館を寄附する等の大がかりな祝意を表すべく立案を急いでゐる

自轉車泥棒捕る

本年四月以來首都警察廳管下に於て嚴重なる警察網を潛つて橫行してゐた自轉車泥棒が二十四日午後十一時三十分頃新天地桃源旅社で四道街署司法係邊榮元警尉補、劉祥雲警長の手によつて檢擧された

吉林省長春縣萬寶山住所不定曹鴻鈞（二四）で四月初旬頃から七月下旬頃迄に前後二十回に亘り自轉車廿台二千圓、興業銀行前から十二台、金泰前で三台、平本洋行前で一台ほか各所で四台を竊取

共犯者吉林省長春縣米沙子劉家油房屯住所不定姜春興（四一）に萬寶山及び米沙子の兩地自轉車店に賣却これに依つ

貨幣發行高 五億に達せん
產業開發に伴ふ增加

特產出廻期を控へて中銀の貨幣發行額は最近除々に增加傾向を示し現在四億四千萬圓程度に達してゐるが本年度は支那事變の長期化並に歐洲動亂の勃發等に伴ひ內外情勢は頗る複雜多難なる推移を辿つたに拘らず國內產業開發計畫は一部悲觀論者の豫想を裏切り極めて順調なる實績を示したゝめこれに伴ふ資金需要は年間を通じて相當の增加を見せこれに伴ふ貨幣發行額も從來の如き季節的增減を示さなくなり今後特產出廻最盛期に於ては特產專管制實施の影響が滿洲金融界に如何なる形となつて現はれるかは姑く措くも貨幣發行額は大體五億圓を突破することは確實と見られる

尙滿洲物價高を以てインフレの然しめるものと見解が一部に行はれてゐるが、これが眞相は國內的原因によるものでなく對外依存度の强い滿洲經濟にあつては日本並に支那の物價高に引きづられたものであるとの觀測の方がより妥當と見られる

思出の哈爾濱驛頭に 伊藤公胸像遷座
けふ三十周年記念日

明治の元勳伊藤公が哈爾濱驛頭に殪れて早くも三十年けふ二十六日午前十時哈爾濱市では驛構內の遭難地點附近に伊藤公胸像安置臺を設け居留民會に安置されてゐた新海竹太郞氏製作の公の胸像を安置することゝなり哈鐵主催の下に在哈官民代表及び思ひ出の日驛頭に出迎へ、悲しみの淚にくれた由緣の人など約七十餘名參列盛大な伊藤公胸像遷座式並に慰靈祭を執行その偉德を偲んだ

協和青年隊と奈良縣青年交驩團

【畝傍國通】去る十六日以來橿原に聖鍬を振つてゐる盟邦滿洲國の協和青年奉仕隊松井中隊長以下百九名は、廿五日正午から奈良縣八木町畝傍中學で奈良縣青年團と交驩を行つた、地元青年團は何れもさきに興亞青年勤勞奉仕隊員として渡滿した百九名で中川縣學務部長が遠來の勞を謝し松井隊長答辭を述べて和氣靄々裡に歡談を交して日滿親和の和やかな風景を見せ、同二時日滿兩國の萬歲を唱和して散會した

建國廟奉仕中央訓練所終了式

協和會中央本部では廿五日午前十時から南嶺第六回建國廟御造營奉仕中央訓練所終了式を擧行、本部から佐々木動員科長、その他來賓として治安部黒岩上校、採金會社賀理事等列席、本年度最終の御造營奉仕をなした奉天、錦州、安東各省選拔の所員百五十名の觀閲分列式、團體兵式訓練、作業等を行つた後、終了式に移り青木所長、橋本中央本部長の訓辭代表の宣誓などあつて正午終了した

名畫鑑賞と講演
▽……三十一日豐樂劇場で

キネマ旬報二十周年記念事業の一つとして新京豐樂劇場に於いて來る三十一日名畫鑑賞と講演の會が開かれる、滿洲文話會支部が後援し映畫は「ひめごと」と「路傍の石」の兩篇、講演は目下滿洲視察中の映畫評論家北川冬彦、今村大平の兩氏が特に旅程を繰り合せこれを行ふこととなつてゐる、入場料は五十錢均一

鐵道員が公然鹽の密輸

二十四日午前十一時四十二分新京驛着のぞみが公主嶺驛に到着した際同驛警護隊分所員が同列車機關車に密輸送の鹽一叺（五斗入）あるを發見この旨新京驛同隊詰所に連絡取調べ方通報あつたので同所員はのぞみ到着とゝもに機關士加川右衛門を引致取調べたところ右鹽は安東驛發車の際何時の間にか運び込まれたもので何も感知しないと申述べてゐるが峻烈に追及した結果鹽密送者は安東機關區勤務淀川義六郞、受取人新京機關區點檢員吉郡稔なること申立てたので同隊では加川、吉郡、淀川の三名を不拘束のまゝ專賣法違反として嚴重取調べてゐるがこの種專賣品、禁制品の密輸送は今日まで公然の秘密の如く大々的に敢行されてゐるものゝ如く徹底的に剔抉のメスを振ふこととなつた

松屋の質流品賣出し

市內銀座新道の松屋衣服店では二十八、九の兩日祝町太子堂で流質品の大賣出しを行ふ、格安の掘出しものがある

空巢捕はる

二十六日午前二時十分頃朝日通派出所員が梅ケ枝町四丁目附近を巡廻中不審な滿人を發見、誰何訊問したところ言語曖昧、態度不遜を極め身に纏ふ物が上から下まで全部新品で竊盜の疑ひ濃厚なので本署に同行せんとするや矢庭に隙を窺つて脫兎の如く逃走を企てたのでこれを追跡、朝日通あじあタクシー前で格鬪の上捕へて連行し嚴重取調べたところ、右は吉林生れ住所不定魯邦德（二三）と云ひ、懷中には一錢も無く質札九圓一枚、十圓九枚、金側腕時計一個を所持してをり市中を荒し廻つてゐた空巢專門泥棒の一人ではないかと目下峻烈に追及してゐる

寄本畫伯個展

小說家山田清三郞氏と同道約半歲に亘り全滿開拓地巡歷をなし得意の彩管を以て躍進開拓國策の實相を約四十點の油繪に纏め上げた寄本司麟畫伯は此の程歸京、來る廿八日から卅一日までの四日間三中井において個展を開催、目新らしい開拓圖繪を國都人士の鑑賞に供することゝなつた

唱歌コンクール放送時間を變更

全日本唱歌コンクール滿洲國參加校を決定する中央豫選は廿九日午前九時三十分から新京中央放送局より放送に時間を變更された

西班牙初代公使

滿、西相互承認に伴ふスペイン初代の駐滿公使を命ぜられた現駐日公使ワイゴ氏は廿五日來滿豫定を變更、廿八日午後九時三十五分着列車で來京と決定した

產業部新任科長

產業部佐技工政科長、海老根化學工業科長は廿六日午後五時二十分着あじあで夫々着任する

袁新武市領事

新任ブラゴエ領事に決定した外務局政務處第三科長袁濤氏は來る十一月一日新京發あじあで赴任することになつた

偶語

凡そ民衆を目標に事を成さんとする機關は民心を離れて目的達成を望むことは無謀といつてよい▼最近著しくこの點に覺醒した感はあるが民衆の先入意識を覆すまでにはまだ〱遙かに遠い▼まして民衆から進んで手を差し伸べて來るまでにはなか〱容易ならざる障碍が橫はつてをるやうに思はれる▼軍用犬にしたところで犬は飼つて見たいやうな氣もするが何かしら接近し難い感を抱かせるものがある▼先頭に起つて聲を大にして呼びかけるものがあつても一戶一犬までにはなほ〱裃を脫いでかゝらねばなるまい▼今度新に生れ出た空務協會また然り▼この際先づ一切合切眞相をぶちまけて社會の疑惑を一掃することが第一である▼然るのち昔の嚴めしい肩書をかなぐりすてゝ町人の一人になり切るだけの勇氣が無くては▼幾度機構の改革を行つて見ても結果に於てそれは一の鼬ごつこに過ぎないことである

競馬總決算　本日休載

皮肉に滿つ反戰論
平和會議を招集
但しチ首相は出席の必要ない
例の如きショウの毒舌

英國文豪バーナード・ショウ翁は今次の大戰勃發以來反戰論を振翳し盛んに例の毒舌を弄してゐるが、二十三日發行のニュー・ステイツマン・アンド・ネイション紙に一文を寄稿、歐洲戰爭解決のためにチェンバレン首相を除外した平和會議の開催を提唱して注目を惹いた、論文要旨つぎの通り

われわれは戰爭解決のため即時平和會議を招集すべきである、但しチェンバレン首相はかゝる平和會議から除外されねばならぬ、何故ならばチェムバレン首相は到底獨ソ外交に太刀打ち出來る能力を持たないからだチェンバレン首相はドイツ國內におけるヒトラーイズムとソ聯國內の共產主義が根絶し英國の權勢によつて置替へられるまで戰ふと述べたが、英國權勢の下では勞働者は九年間にたつた一月分の仕事を見出し得るに過ぎない、須く英國保守黨は時機を逸しない內に、曖昧で紀律のない人々と懸け合ふ位ならば、英國民よりも年長で紀律のある獨ソ兩國民を交渉相手とすべきであると言ふことを認識すべきだ【寫眞はショウ翁(上)例の如く蝙蝠傘を持つたチエンバレン首相】

知らぬ人が多い
吸入の効果
泣く子に吸入は「効果がない」

子供が風邪をひいて咳をしだした場合、一般に行はれる家庭療法に吸入と濕布があります、ところでこれを行ふのに案外多くの家庭では正しい知識が持たれてゐないのではないかに思はれます

ナゼ泣けば効かぬ?

吸入は咳の出る惡い部分に蒸氣が入つてこれを保護すると共に、惡い所から分泌される痰のやうなものを薄くして喀出するのに便ならしめる作用があるものです、併し肺の奧深くまでは蒸氣は屆くものではありません、そこで問題はとかく子供に吸入をさせようとすると、溫順しくしてゐずよく嫌がり、頑くなに口を閉ざし、または泣きじやくつたりするものです、かうして泣き出して逃げようとする場合これを無理に押さへてまでさせる必要があるかどうかと云ふことが問題です、何でもない時でも泣けば喉が赤くなるもので、まして風邪をひいた子供の咳の出る惡い部分に好ましい影響のあらう筈がありません、ですからたとひ咳に吸入はよいものでありませうとも、子供を泣かせてまでやるのは損です

すこしづゝ幾度も

從つて若し吸入をさせるなら一時に澤山の量をせず、少しづゝ何べんにもやり、嫌な顔をしたらとめてまたやるやうにします、でないと永久に吸入させられないことにもなるでせう、殊に肺炎などの呼吸困難のある場合は、やると却つて困難を起させます

濕布の効果とは?

濕布をする効果とは、病人に氣持のいゝ爽快な感を起させることにあります、病人の氣持が爽快になれば、安眠や安靜が出來るので自然病氣も治るといふわけですが、何も濕布そのものに咳止めの効果があるのではありません、ですから起きて遊んでゐるやうな病人なら、たとひ風邪を豫防する効果はあつても咳を止めるための効果はないのですからわざ〳〵濕布するのは大した意味のないことゝいはねばなりません、尙濕布させる場合は病人を溫かく寢かせておくことは勿論胸や背中を全部包むことで、前だけするのでは全然意味も効果もありません

熱の程度で異る
氷嚢に入れる氷
◇家庭看護讀本◇

【熱】の程度によつて、氷の割合を加減することが必要です、たとへば三十八度以下でしたら水だけ用ひ、三十八度以上の場合は水と氷と半々にした氷嚢を乾燥した手拭などを二、三枚重ねて間接に冷やす、またずつと高熱の場合は

【氷】嚢なり、氷枕を用ふるといつたやうにしなければなりません、しかしこどもは、發熱に對しては比較的耐へやすいので、熱があるからといつて直ぐ頭を冷やしすぎた結果元氣が衰へたり、食慾が減つたりする例はしば〳〵見受けることですまたこどもが顔面蒼白となり惡寒戰慄が來てゐるにも拘らず、高熱だからといつてどん〳〵冷やしてゐる家庭がありますが、さういふときには一時頭を冷やすのをさし控へて惡寒戰慄がなくなつてから

【冷】やすべきです、要するに冷やしすぎは、冷やさずに自然放置するよりも、かへつて結果が惡いものだといふ事を豫め知つておきたいものです。

全滿洲庭球軍 日本遠征記 (七)
忘れ得ぬ對兵庫戰
松山で愛媛軍に快勝

九月三日 全兵庫對滿洲軍試合は山手倶樂部コートに於て午後一時から開始さる、それよりさき我が軍代表は三島支部長の案内で、市役所に市長を訪問し、新京特別市長よりのメッセージを交し、次で商工會議所及神戸新聞社を訪問しコートに至る、三島君が自慢するだけあつて流石に神戸のコートは立派なものだ、試合は型によつて市長の開會の辭に次で、支部長の挨拶、次が各方面よりの祝辭等あり玆に兩軍の火蓋は切つて落された、ファンは東京、名古屋に劣らぬ多數で、殊に女學生が日滿兩國旗を打ち振りながら滿洲軍のため應援してくれるのは感謝の外はなかつた、戰跡は次の通りである

(滿洲軍)　(兵庫軍)
本間、植村5—6岡本、大谷
白井、江崎3—5今井、大內
金、堀內2—4渡瀨、長井
嚴、李4—0勝部、高田
廣野、金文0—4森本、田邊
長與、三宅4—6名島、荒川
磯崎、疋田3—5河島、森重
◇優退者戰
嚴、李4—1岡本、大谷
嚴、李4—1今井、大內
嚴、李4—6渡瀨、長井

名古屋で村瀨組、大阪で嵯峨組を目標に勝負を決するとすれば、神戸では確かに渡瀨組に相違なからう、選手權大會の時に4—0で慘敗したけふの渡瀨組がどの程度にまで嚴組を惱ますかは興味を唆るに足るものがあつた、副將格たる今井大內組を4—1で破つた嚴組は大半神戸軍の志氣を挫折して、勝は滿洲軍にありと大阪の島山陸夫氏あたりは言つてゐた位である、果せるかな戰跡は4—6で渡瀨組に勝ちを讓つたとは言へ、恐らく李前衞も言ふ通り今回の對日戰中一番苦心したゲームでもあり、一番興味も加つて負けても何等悔いない試合であつたと、勝つた渡瀨組も其の瞬間コート面をジット眺めて淚をこぼしてゐたが、さぞ嬉しかつたに相違あるまい、試合も斯うなつてこないとほんとうの有難味が湧かぬものだ、東京出發以來連日の試合に身體も疲れてはゐたが、兵庫の試合は永久に記念すべきものがあつた、午後六時から長、市縣知事、商工會議所合同の宴會に臨み、同夜午後十時三十分神戸埠頭發の船で夜の瀨戸內海を横ぎつて黒く眠る島山に迭り迎へられつゝ夢の如くに今治に着いたのが四日の午前九時三十分頃、それから汽車で松山に向ふ

九月四日 松山に着いたのが午前十一時頃、驛頭には松山支部の役員始め、女學生が日滿兩國旗を打ち振りつゝ萬歲を唱へてくれる、かゝる場合生きとし生けるものゝ嬉し淚は當然あるべきが常であらう試合は松山高等女學校庭のコートに於て午後一時から行はれたが、伊豫松山城を高きに仰ぎ見て、由緒深き一戰が展開された、戰跡は次の通りである

(滿洲軍)　(愛媛軍)
本間、植村4—1橋本、天野
向井、江崎4—1山本、口羽
嚴、李4—2長谷川、川島
長與、三宅0—4門屋、芝
磯崎、疋田1—4上甲三、松澤
廣野、金文0—4石田、上甲洋
金、堀內6—4小山、富岡
◇優退者戰
本間、植村4—1門屋、芝
向井、江崎4—2上甲三、松澤
嚴、李4—2石田、上甲洋

松山役員の好意に依り道後溫泉旅館に止宿、午後六時より松山市長の宴會に臨む(加藤)

始に鹽は禁物
美味なテキ

ビーフステーキだけは家庭でこしらへるにしても材料をケチにする譯には行かない、肉が一人前五十匁位はないと心細い、よく普通にやつてゐることであるが、最初鹽をふつてはいけない、最初鹽をぶつかけたビーフステーキは堅くなつてまづい

……◇……

そこで美味しく燒くコツはといふと、強い火で十分熱く燒いた空のフライパンにバタを溶してやると、バタは溶けて泡になる、泡がフーッと吹き上がつたところで肉を入れ火を中火にし、肉の上から鹽をふる、鹽をふつたら裏を返しフライパンの乘る位の鍋でもあつたら、それでフライパンの上から蓋をする

……◇……

かうして中火で暫く燒いて下し際に、一旦火を強くして置いて止める、そして火を止める直前に胡椒を落すのである火を止めたら直に肉を取り出さず、少しむらす方がよい

……◇……

添へにはボイルドポテト位が頃合である

ラヂオ

【M・T・C・Y 新京放送局】廿七日【金曜日】

けふの番組

—朝—
七、〇〇(新京)建國體操
七、一八(大連)入港船のお知らせ
七、二〇(新京)ニュース
七、三〇(大連)初等滿洲語講座
七、五五(大連)朝の音樂(レコード)管絃樂、イタリア民謠集(ミヘリー編曲)ロシア民謠(ボルヘルト編曲)イギリス民謠(グレンヂャー作曲)イ、牧人の唄ロ、田園風景
八、二〇(新京)氣象通報
八、五〇(新京)建國體操
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
一〇、〇〇(大連)經濟市況
一〇、〇五(大連)幼兒の時間(うたのおけいこ)オイモホリ、古藤孝子、ユカリ會
一〇、二〇(新京)家庭の時間「石炭使ひ方のコツ」堀亮三
一〇、四五(哈爾濱)家庭メモ
一〇、五〇(哈爾濱)料理獻立
一一、三五(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

—晝—
〇、〇一(新京)晝の演藝アコーデイオン獨奏(レコード)一、喜歌劇「詩人と農夫」序曲(ジョルジュ・セレル)二、ブシーの喫茶店で、愛の言葉を、星條旗行進曲、口笛吹きと小犬、ボレロ(ジョルジュスコット)フニクリ・フニクラ(ピエトロ)
〇、三〇(東・新)ニュース、
一、〇〇(大連)經濟市況
二、一〇(大連)經濟市況
三、二〇(東京)經濟市況
四、〇〇(東・新)ニュース
(新京)氣象通報
四、四〇(大連)經濟市況
五、二〇(新京)ニュース「鮮語」
(新京)演藝「鮮語」

—夜—
六、〇〇(大阪)子供の時間(童話劇)天體探險物語(終)月の卷、大阪科學劇研究會
六、二〇(東京)コドモの新聞
六、二五(大連)趣味講演「世界名畫の話」二瓶等觀
七、〇〇(東・新)ニュース
(新京)告知事項・今晩の番組
七、三〇(新京)齊唱、新京放送合唱團男聲部、伴奏CVアンサンブル 風ぼさみどり(北野スエ子作詞・江口夜詩作曲)くろがねの力(淺井新一作詞・江口源吾作曲)滿洲體育の歌(加能洋二作詞・古關裕而作曲)
七、四〇(新京)講演、石炭節約講座(五)「技術者の立場から」山崎喜一郎
八、〇〇(東京)講演、一、武漢攻略の一周年を迎へて 海軍少將近藤英次郎、二、漢口攻略戰の回顧 陸軍步兵少佐池田[illegible]
八、三〇(東京)防空讀本(四)防毒
八、四〇(東京)講談「祐天上人」神田伯龍
九、一〇(東京)時事解說
九、三〇(東京)時報・ニュース・ニュース解說
(新京)ニュース・氣象通報・告知事項・明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

講談 祐天上人
(後八・四〇 東京より) 神田伯龍

奧州磐城平の在新妻村の百姓長左衞門伜三之助は幼時より神童の評判が高かつた、三之助が十一才の時、長左衞門方に泊つた旅僧から一子出家すれば九族天に生ずといふ話を聞かされ、三之助は後江戸へ出て芝三緣山增上寺に、久派和尚を訪ぬ出家入門の事を賴む、久派は袋谷の團通和尚に依賴し、その徒弟となり祐天と名付けた、團通が祐天に阿彌陀經より教へるが、一ヶ月餘もかゝつて一行の經文さへ覺えず、流石の團通も之を怒つて祐天を破門して飯炊き男八助に預けた、八助は寺侍長四郎兄弟子善長に話しその助けを願つた、善長は祐天にその事情を尋ぬると、此處に初めて祐天は實は普通の言葉は話せるが、御經を讀まうとするとロがきけなくなるといふ事を物語る、善長は祐天の心を察し氣を落さず氣長に勉強せよと勵ませる、正月の或る日他寮の小僧達に恥かしめられた祐天は此れまでと死を決し投身しやうとした、其處へ八助が通り合せその不心をさとした、祐天は此處で、機一轉し圓山の開山堂に參籠して一日も早く經文を讀める樣にと祈つた、二十一日滿の日西譽上人のお告げを受け祐天は翻然と悟り、更に下總佐倉の郷新勝寺の不動明王に斷食參籠をこめ、利生を得て鈍を拂つて大悟れの名僧になつたといふ祐天上人幼時の一くさり

どんな極寒でも凍らない蓄電池
大陸科學院に又凱歌

冬季に入るとゝもにあらゆる活動の停止を餘儀なくされる極寒地の文化行動を容易ならしめるため特殊な研究を續ける新京の大陸科學院にガソリン不足も何のその酷寒零下四五十度といふ北邊都市の凍てついた街上に悠々快適の電氣自動車を走らせてみせるといふ絶對不凍の蓄電池製作といふまた新たな科學の凱歌が擧つた、しかもこの蓄電池は通信その他の部門にも十分利用出來るため滿洲國はもとより樺太、北海道を基地とする北進日本の大きな動力となり得るものだ

大陸科學院動力研究室囑託本岡玉樹氏はかねて冬季乘物不足の北滿住民のため不凍蓄電池による電氣バスの研究をつゞけてゐたが、從來の蓄電池の電解液、苛性曹達液(比重一、一〇〇)では攝氏零下十六度程度で氷結するためこの障碍突破に苦心の結果、物理的保溫方法により電解液及び活動物質が如何なる水銀低下にも直面しても氷結せず電壓低下、電氣容量減退等の憂ひのない亞酸化鉛粉から特製した自然酸化リサージを原料とする新蓄電池を完成した

溫度においては從來のものと何等變らぬが、攝氏零下十二度程度になると容量が二倍となる重寶なものでこれに厚い木板と厚さ十二粍乃至十八粍のコルク板の保溫裝置を施せば滿洲國の北極といはれる海拉爾附近の零下四、五十度の氣溫でも大丈夫との折紙がつけられた素晴しいものであるしかも滿洲國では治水工事と併行する水力電氣發電所の完成とゝもに安くて豐富な電氣需給の日が近いため不凍電氣バス時代の到來が豫想されるものとしてその工業化をまたれてゐる

△本岡玉樹氏談 不凍蓄電池の研究は米國標準局のヴイナアル氏などが有名ですがアメリカには實際に使用する機會が少いため充分な成功が得られぬやうです、滿洲國はもとより北進日本の國策上から不凍蓄電池完成は忽せに出來ぬものなので私としては現在器をもつともつと改良したいと考へてゐます

(三)

以下は所長の話である—大體昨年春始めて入植を敢行したばかりですから宿舍も、其他の設備も御覧の通り未完成なもので、御見せする程のものも御座居ませんが、場所としましては、北滿の要地に呼蘭河、伊吉密河に沿うた巾約二里、長さ六里乃至七里といふ廣大な面積を有して居りまして、殊に東南に丘陵を控へてゐる點など絶好な訓練所です大體私の前々からの希望は山のある場所といふのが第一條件だつたのです。といふのは北滿のやうな一望千里な單調な地形に山があるといふ事は子供に故郷の山河を始終想起せしめ、常に祖國を念頭におくといふ意味で非常に大切だと思つて居ります。この意味で時間の許す限り此の山を利用して居ります。毎朝の日出には必らず生徒をつれて、その莊嚴なる光景を拜ませて居ります。これは稍もすればすさみやすい子供の心を非常に和げてくれます。——此の廣大な地域には大體一萬二千人の收容を目的として居るのです。昨年は十五大隊入れて、二十個大隊完成して居ります。と申しますのは、こゝは所謂大訓練所と申しまして、內地の內原訓練所で二ヶ月訓練を受けた生徒を、こゝで一ヶ年間訓練して、それを小訓練所へ送り出す譯なのです。小訓練所も甲、乙の別により、そこで二ヶ年の訓練後止まるか或は、更に外へ出て行くかに別れて居るのです。所で私の所では、昨年四千六百名入れて、已に二千六百名を小訓練所へ送り、現在では約二千名訓練中だといふ事になる譯です。—訓練は作業並に精神訓練に重點をおいて居ります。作業と申しますと、農業、土木、建築といふやうなものと、教練です。でも勿論、各人の技能に應じて經理、倉庫事務、測量等の特殊技能を授けてゐる關係上、トラック班、電信班、郵政班、內務班、畜産班といふものも御座居ます。將來は教師の充實、訓練生の大量收容と相俟つて、充實した訓練所にしたいと思つてゐます。然し、先刻申しましたやうに、何分未だ入植以來日の淺い事で御座いますから今の所は、配置も設備も皆一時的な假宿舍で御座居ます。—まあ、かういふ大きな仕事は男子一代の名譽と光榮に思つてゐる次第です。

突然コツコツと元氣のいい靴音がした。

「先生!縣公署との間の電話が不通になつて居りますから、なほしに行つて參ります外出許可證をお願ひ致します電信班の〇〇です」

颯爽と胸に赤い「電」のマークを入れた十六、七の少年が元氣よく擧手の禮をしてゐた。

「よし、御苦勞」先生も颯爽としてゐる。

氣がつくと、こゝも蠅が多い。部屋には電話はあるがまだ電燈がなくてランプが机上に並んでゐる。

食鹽を使ふと
齒質も痛めます

齒みがき粉の代りに食鹽がさかんに今日でも利用されてゐます、これは身體を淨めるといふ宗教的の意味から出發したもので、したがつてこの意味で用ゐる場合は別として、齒みがき粉の代用にする時は、結晶のため齒質を惡くする傾向があります、特に一般に消費されてゐる食鹽は結晶は大きなもので一層影響が大きい、普通の齒みがき粉でも粉な粒の大きいものは齒質に惡い影響を與へます、結晶の大きな鹽は齒質によくないばかりでなく味覺が干渉されます、人によりますとこれを齒みがき粉の中にまぜて用ゐるものがありますが、これは控へた方がよい、しかし食鹽も一パーセント乃至一、三パーセントぐらゐの水に溶解してうすめたものは滲透壓も等しく味覺にも干渉せず、收斂もさかんでなく、また性質も中性なので、含嗽劑として用ひるのはよいことです

學藝

戲曲 日出（五七）

曹禺作　大內隆雄譯

福 旦那さん、旅館は今忙しいんでしてね、潘經理はちようどお客を招待してゐらつしやいます、私は歸つて用事をしなくちやなりません。

胡 お前は誰が仲間にその仕事を頼んで來たのぢやないのかね？

福 此處まであなたを御案內するつて事、コリヤあ誰も知つてはゐませんでした、あとで顧八奶々には感づかれました、しかし私はいゝ加減にごまかして、一人で來た事になつてゐるんです

胡 僕はいつだつて遊ぶのに君に迷惑を掛けたことはないぜ。

福 えゝ判つてますよ、私もぼんやりしてゐるわけには行きませう、私もう歸りますよ。

胡 俺も直ぐ歸るよ。

小順子 （福升に）二爺、お久し振りですね、あのあなたがお呼びになつてゐました五姑娘はよそにかはりましてね、今度は誰か外のを呼んで下さいよ。

福 いや、いや、わしはその四爺のお伴をして來たのだ（胡を指し）旦那樣の胡四爺がまあ此處に遊びに行つて見ようと仰言つたんでね

小順子 ぢやあ、四五人呼んで見ていただきませうか？

胡 （甚だ慣れた風で）うんさうしよう、四五人呼んでくれ。

小順子 はい、四爺。（出て行く）顏見世だよ、お客樣だよ。

福 それぢやあれ程歩き廻つて、あの小娘を探しに來たんですか、それで此處まで來りやもういゝつてわけなんですか？

胡 （白い眼を見せ）それぢやいかんのかね？旦那の方が錢を費つてさ、きれいなのを見るんだからそれでいゝぢやないか、馬鹿だなあ

そしてさ、俺らは俺らで好いのを見付けて遊べばいいだらう？

（小順子、左右の簾を掲げる自分は外に立つてゐるこ）

小順子 （それらの生物どもに向ひ）さあ內に入つて。

（胡四と福升は入口に立ち外を見てゐる。）

外の聲 顏見世だよ！みんな出て來ておくれ、玉蘭！（それにつれて女たちが現れて來る。）

胡 （舌を出し）南瓜だな。

外の聲 （直ぐ後をうけて）翠玉！金桂！海棠！黛玉！

（その名前とともに小さな生物がチラと入口に現れるみんなそれ〴〵に笑つてゐる。）

胡 （畜類を檢査するやうにそれ〴〵に對して色んな姿態で批評を加へる）あかんワヤや、こりや一寸いゝが瘦せつぽちだな！（福升の方に眼で合圖をし）こりや又肥つた豚ぢやわい！次々とます〳〵駄目だな！――こりや名前はいいが、どうも格好が見られんなア。（福升はそれに調子を合せてゐる。）

外の聲 翠喜！

胡 （翠喜を見）こりやいゝぞ。

外の聲 小翠。

福 （低聲に胡四に）あれですよ、あの娘ですよ。

外の聲 鳳城！小小！月卿！

小順子 （胡四に）これだけでして、四爺。休んでるのや病氣のもゐまして、これだけでございます。

胡 （小順子に）翠喜、小翠この二人は姉妹かね？

小順子 まあ此處での姉妹でございます。

胡 その二人を呼んでくれよ

小順子 三姑娘、八姑娘。（翠喜と小娘が入つて來る。小順子は出て行く。）

翠 （非常に老練である）どちらなの？

胡 （自己を指し）俺。

翠 この妹は？（小娘を指す）

胡 それも俺だ。

翠 （笑ひ出して）それでいいんですの？

福 何も惡いわけはないだらう。

創作 天井（四）

鮎川若彦

「途はある筈、あなたも本當は行きたいでせう」

「行きたくはないけど」

「ないけどどうなのだ。」

「しつとね」

「さうだ。人間とはずゐ分勝手なものだらう。しかしそれはどうしたつてとゞめられない自然の感情だね。」

「ぢやあなたも一緒に行つて下さい」

「自分の好きな人があひびきに行くのについて行く程まだ大陸的にはなりきれないね―」

「皮肉ね……」

「和やかに中止する方法はないかな……」

「…………」

「五年も世話になつたのだから」

「許す……？」

「しかたがない。」

桂吉は初子を送出すとすぐ外に出た。そしてカフエ・ロンドンに走るやうにしてとびこむと、まるで狂人の樣に酒をのんだ。

しかしく、何本のんでもなかなか醉へなかつた。テーブルの上に十六本の酒德利が並べられた。さすがに足がふらつく、何と言ふ淋しさだ。苦しさだ。桂吉は靴のまゝでアパートの泥だゝみの上に這ひ上ると崩れる樣にたほれしてまつた。

「いゝ。すべてあきらめた。糞、惡い夢だつた。それでいゝのだ。彼奴は彼奴だ。俺は俺だ。故鄕には妻子ありだ」

桂吉は誰に言ふともなくうなる樣につぶやくのだつた。

初子は興城につくと、馬車で山本の宿にいそいだ。

「やあよく來てくれたね」

山本はもうかなり酒がまわつてゐた。

「どうだね一風呂あびて帶などといて着かへでもしたら」

「はい」

「一杯どうだね」

「今日はどうも身體の調子が惡くて、頭痛がしていけませんの」

「酒のめばなほる、そしてあすわしは山海關まで商用があるから、そのうちゆつくりやすみなさい、なあに看病位はしてあげるよ……」

「でも、私今日はかへしていたゞきたいので……」

「折角來てかへるそんな理窟があるものか……」

「なんだか熱氣もある樣ですし、かへつてゆつくり休ませていただきます。」

「えらい急に冷たくなつたね……」

「しつかり覺悟しましたの。私も母として、子供にいやしまれ輕蔑されない樣な生活に入りたいと思つて……」

「それもよからう。ぢやね、都合にしなさい。こゝに三百圓ある。手切れ金と言ふ譯ではないが何かの用にたつこともあらうから」

「こんなにしていたゞいては……」

「すくないけれどまあそれでがまんして下さい。これからのちもこまつたことがあつたらいつでも相談に來なさい。」

山本は靜かに我が娘にさとす樣に言ふのだつた。

「ありがたうございます、御恩は忘れません」

「御恩なんて、わたしの方から言ふことだ。いつかあなたは奧さんの居ない人はどこかみすぼらしくつて、重みがない。シヤツの袖口がよごれてゐたり、足袋のはなさきが破れてゐたり、ぽけつとがほころびてゐたりして、そんなところを細く良く氣をつけてくれた。私はそれが何よりうれしかつた、私はどうかあなたが幸福であれば良いがと思ふ女一人の生活がどんなに困難なものかと言ふことは、よくあんたが知つてゐる筈だから……」

「……」

初子は別れるとなると、やつぱり愛着があつた。

桂吉の樣な若さはないにしても、どこか人の好い、親しめるものがあつた。

「…………」

「どうだね、今夜一晩位は一所に語らうではないか……」

「はい」

「な、いゝだらう……」

「はい、しかし私やつぱり歸していたゞきたいのですけど」

「さう そう……」

桂吉のあの淋しさうな顏が目に浮んだ。するとどうでも歸つてみねばならぬと思はれて來た。

「もう寒くなりましたわね」

「短い秋だ、內地では稻がみのる頃だね……」

「もう大分おそいですわね、終列車に間にあひますか知らん」

「まあいゝぢやないか……」

赤ペン放送室

落ちる……或る夜更けであつた▲表ての戸をたゝいたが開けてくれない、よしそんなら裏に廻つてやるぞと▼件の人物は裏の路次へ廻りはじめた、足許は些かフラ〳〵してゐる▼えゝ、と此處の所からだ、と思つて足を伸ばした途端、ドオとばかりに彼の身體は三尺ばかりの地の底に―塵埃棄て穴の中に轉落してゐた▼人物は和田夫先生、彼にして斯く醉ふこともあるといふ實話である

爆擊機　快よき作

太宰治「皮膚と心」（『文學界』十一月號）

作者は此處に健康さへの恢復を示しつゝあるやうで、一時の退廢ものの時代に比して大いに喜んでいいであらう。此處には一人の醜い女彼女が二十八になつて氣弱な男と結婚する、その彼女は皮膚病を何よりも嫌つてゐたのに或る日自分の身體に發疹物が出來て愕然とし、恐れおののく、やつと或る病院に連れて行つて貰ひ何か食べ物の中毒症狀だとわかつて安堵する、その間の心理の經過を事細かに書いた作品である。

何よりこの題材への打ち込み方を良しとしよう。またこの醜い女の氣持に注ぐ作者の愛情が全篇にみなぎつてゐて甚だこゝろよいのでもあつた。（御垣衛士）

さすらひごゝろ

西谷正夫

やはらぎや
ひとり寄せて
月かげは巷にふけゆく
打ふみて我は迦りぬ
ひかり淡く春の夜の月はまろし
茫として廣ごれる荒磯邊の夜の砂
打ふみて我は迦りぬ
木の枝の音なきそよぎ
黄昏の遠きひゞきにみちわたれる
旅の身などか欲りまし　短夜の夢のいのち

木にゆれど
思ひでの人は凭らざれ
なみだか　風わたるけはひよ
そのかみ
こゝにし逢ひけむ
ふたりのあつきかたらひ
いかになりけむ

戀　花

なべての思ひ出は
晴れやらぬいたみとなれど
春もわたりて
林野邊に思ひでは崩えいづらむ
惱めるひとみ　すさみし肌
あゝそのかみ
甘きくちづけ淸らの戀に醉ひたる
ひとにこそあれや　かくこそすさむか

夜の風　仄か
ひとり木に凭りて夢を追へど
くちづけじげきえまひよ
よみがへれ
夢のうつろのなきがらに
小さきかなしみ
ひそかなるあきらめもてど
はれやらぬ胸の思ひよ
さすらひのゆめのおもひで。

からまつに　おもふ

からまつの多の日に
木々のひとむら　さなりさびしや
いにしへのこひを思へばやるせなし
いまひとみにいるは
たゞ華やかに身をめぐるおとめご

吹きなげき空に木々の梢こそさわげ
われひとりたゝずみて
おもひはもゆれどあさきゆめのみ
あゝわづらへど
わかれゆきしおもかげよみがへるや
音もなく春はつぼみをまねくを
われはいまもなほ
まなざしふかく
かゞやくひかりおひて
わかれゆきし　きみを思ひて
ゆらめく胸にいだけば
いかなる戀か
あゝまたわれは夢む
わびしくさけるか白きかなしみ

この日　みだれてわれは嘆きぬ
おとめごはふかき涙にくちづけも忘れ
とほきわかれをくるひなげく
あゝされどなげかまじ
まなざし深くにほふは何のさがぞ
われはかなしみつきがたく
からまつの林にありてさびしめど
あゝかゝる日もなほ野みちにたゝずめば
なぞもかばかりに胸のかなしきや
あゝやすらひのゆめにふけて
しづみしも思ひのそこに
あゝさらにきみを戀ふと。

―十六の春より―（稚き日ノート）

みんなだいすき
森永ミルクキヤラメル
森永ミルクキヤラメル
一個十錢、六錢

兵隊婆さん講演

女給さん五百名あつめて

北中南支の全戰線を始め北滿の第一線までを三年間にわたつて行脚皇軍慰問講演をつゞけこのほど來京した「兵隊婆さん」で有名な東京市本郷區天神町の華道師匠森莊月さんは二十六日午後一時から首都警察廳に集つた都下特別飲食店組合の女給さん達五百餘名に第一線將兵の活躍振りをつぶさに講演、銃後を固めよの時局魂を吹きこみ滿場を感激させた【寫眞は兵隊婆さんの講演】

特別市諮議會

第八回新京特別市諮議會は二十六日午後二時半より市第一會議室に於て市側より正副市長を初め、各處科長諮議側より王莉山氏以下十三名出席の下に開催議案の討議を行ひ同四時半終了した

商業生神武殿奉仕

紀元二千六百年記念として新京牡丹公園内に建設中の神武殿毎日各方面の勤勞奉仕により着々工程を進めてゐるが二十日午後一時から新京商業學校五年生一同が汗の勤勞奉仕を行つた

李少春丈獻金

さきに新京記念公會堂發火の際燒出された北京中國梨園の名優李少春一座はその後各方面から差し延べられた溫い同情の手で無事に巡演を終へ目下滯京中であるが、これもひとへに日滿關係機關の後援によるものとして二十六日協和會を通じ關東軍に恤兵金として金六百圓を獻納した

炭節週間 第二日

講演と映畫會

日人汽罐士を中心として

けふ協和會館で開催

二十六日採煖期に入ると同時に國都は第一回石炭節約強調週間に入り、協和會首都本部並に新京特別市公署で主催の「日人汽罐士を中心とする講演と映畫の會」を二十七日午後一時より協和會館で擧行するが、同席上で一ケ月前に開催され非常に好成績を收めて終了した日滿商事主催の「石炭節約座談會」皆勤者百卅名に表彰狀を市公署村川衛生處長より授與することゝなつてゐるが表彰を受けるものは當日間違ひなく出席され度いと

"グラム"換算正確か

近く雜貨商 一齊檢査

配達中を待つた！

注文品の量目誤魔化しないか

店內、街頭へも光る眼

「近頃の雜貨屋は注文の量目を誤魔化して困る」と云ふ聲が臺所を與る奧さん方の口から盛んに宣傳されてゐるが首都經濟警察保安股では今迄にも不正を働く商店に對してはこれを發見次第摘發處分して一般家庭の家計簿に一錢でも黑字を多く加算でき得る樣に活躍してきたが近く首都全市に於ける雜貨商に對して瓦に依る換算確實性及び注文物品の數量其の他に就いて一齊檢査を行ふ事となつた

具體的方法に就いては目下立案中であるが大體に於て現在迄行つてゐた商店內での檢査以外に目拔の街頭に出動して、家庭に配達中の物品及び數量が間違ひなく送達されてゐるかを檢査するものゝ如しである

に出來れば良いが萬一不慣の小僧さんが販賣した場合には必要量の品物を購入する事が出來ぬ事にもなる譯であるから此の點主婦は充分に氣を附ける樣に注意されたい一方商店側に於ても店員は瓦換算を充分に諒解してゐる事であり主人はこれを使用人に間違なく運用徹底さす事に心掛けるのが顧客との圓滑を計る唯一の道でもある譯だから期會ある毎に店員の瓦換算の試驗でもやつて徹底向上さして貰ひたいものだ

グラム換算法を

充分に認識せよ

間違はない法＝家庭主婦に要望

これに就いて當局ではさの如く語つた

一般家庭の主婦が瓦換算法を充分に研究して買ふ事で十錢又は二十錢等の小買でなく瓦と云ふ風に瓦に依つて品物を買ふ事を實施して欲しいものだ何かと云へば商店員が瓦の換算法が充分

時ならぬ暖波！

(きのふブラス風景)

氣溫計は急速度に上昇一度半で俄然、街頭に公園に重いオーバーをかなぐりすてた、華やかな男女の姿が見られ今月半頃から急變に溫度が下りこのまゝ酷寒にすべり込むかと案じられてゐた天氣も皮肉なもので配炭可能の廿六日寒れ目射しのオーゝも暖氣に微笑をみせ春まがいの風景を見せた

棉布密移入

乘務員惡事頻々

警護隊福澤刑事は二十六日午前八時第二〇四列車新京驛到着とゝもにホーム密行中、同廿分頃列車乘務員が風呂敷包を重さうに擔いで行くのを發見不審に思つて取調べると包の中には綿布(十反)があつたので何處で買つて來たかと質したが返答せず逃れやうとするので本隊に連行した

右は日乃出町二ノ一四滿鐵社員趙光華(二七)で、乘務員として淸津に行つた序でに安く綿布十反(一反二十二圓五十錢)を買入れ列車內に隱匿入滿の際圖們稅關吏の眼を掠めて脫稅密移入して來たことと及び今迄に七回に亘つて綿布五、六十反を密移入しては倍價で市中に賣捌いては利を貪つてゐたもので、現業員の地位を惡用する一味數名ある見込みで目下追及してゐる

冬仕度に狂ふ

不逞の蠢動絕つ

首警、斷乎掃蕩乘出し

首都警察廳司法科では來る酷寒とゝもに各籠りをなし跳梁の際あらば荒稼ぎせんとする不逞匪賊くづれが近來密かに國都に潛入しつゝありとの情報に國都治安の完璧を期するため二十六日午前十時より廳下各警察署司法主任を召集、會議室で主任會議を開催したが、勝頭谷口司法科長より國都近接部落の治安狀況の說明、今後の指示あつた後酷寒季犯罪惹起防遏に關し種々意見の交換、對策を練つて午後二時過ぎ散會したが、近く司法科各署總動員して萬全を期すべく不逞徒輩の一掃に大活動を開始する事となつた模樣である

滿洲國新敎科書の編纂方針決る

個人思潮の弊排し

建國の理想に立脚

眞の中堅國民養成へ

近く公布される敎科書編審委員會は北滿地方視察中の副委員長民生部田村敎育司長の歸任を俟ち十名の委員を任命直ちに第一回委員會を開催、國定敎科書の根本的編纂方針を決定の上編纂事務を開始するが、その主要業務は建國滿洲の國策に立脚した國民道德の涵養を根本方針とした國民高等學校の國定敎科書の制定で從來各科目毎に權威者に依賴編纂してゐたものを今後編纂委員會自體の手で新興滿洲國の風土、國民性に即應したものを編纂し眞の中堅國民の指針たらしめんとするものである

その內容は個人思潮に偏重した從來の弊を排し建國の大理想に立脚、古文書を主體として二千五百年前の王道主義から現世に即應する新資料を豐富に加味し滿洲國獨特の生活のための敎育たらしめんとするもので、國語、國民道德科、滿語讀本の白亞文挿入等を順次考慮し康德八年度から出版の豫定である

右につき寺田編審官主席は語る

從來の個人編纂の弊風を除去し滿洲の國風にピッタリ合致した敎科書に改訂國民道德の涵養に努めんとするもので從來の日本式敎育或ひは古文書主體の敎育方針を改正して行くのだからなかなか簡單には行かない、然し國定敎科書は新國民培養の基本となるべきものであるから委員會で愼重審議その編纂に當りたい

雜誌記者團出發

【東京國通】建國理想の途上にある躍進滿洲國の眞の姿を各角度より觀察その見聞を通じて雜誌報國をせんと日滿中央協會主催、日本雜誌記者團滿洲調査隊一行卅三名は約一ケ月の豫定で同協會理事長陸軍中將松井七夫氏に引率され二十六日午前十時廿分東京驛發列車で關係各團體多數の見送りを受けて出發した

來月の全日曜を

傷病兵慰問演藝

賑やかな記念放送陣

聽取者廿萬突破の記念行事として滿洲電々では十一月五日から特輯番組を全滿ラヂオファンに送るがさらに十一月中の各日曜日を國防第一線に傷いた白衣の勇士に捧げ全滿各地陸軍病院に於てそれぞれ多彩豪華プロを以て「皇軍勇士慰問演藝の會」を開催マイクを通じて一般にも放送することとなつた、なほ新京陸軍病院のみは特に記念プロにふくめて來月廿二日午後七時半から開催するがその題目出演者配合については各地放送局で智囊をしぼり合つてゐる

書道講習會

駐滿大使館敎務部並びに敎育會北部會共同主催第一回書道講習會は△廿六、七日新京敷島高女△廿八、九日奉天市千代田小學校で開催されるが、講師は文部省囑託小學校書方手本筆者鈴木翠軒氏および同氏助手金田心象氏で、受講者は全滿中小學校敎師百五十名である

賣込み損ねて自轉車泥捕る

二十六日午後一時頃吉野町一ノ一五石川自轉車商會方へ十七、八才の內地人が「この自轉車を安くてもいゝから買つてくれませんか」と賣込みに來たので、店員李正弼(二五)君がどうして賣るのですか、貴男の自轉車ですかと質してみると言語曖昧で要を得ないのでこれは怪しいと睨み買ふのは事情が判つてからと新京驛前派出所へ一應取調べて下さいと突き出した

なほ住所不定奈可義市郞(一七)假名と云ひ、同日朝驛前に無施錠であつた自轉車一台を搔ッ拂つたことを自白したが余罪多數ある見込みで取調べ中

匪首劉歸順

熱河の治安愈よ堅し

我が皇道宣撫の前に歸順匪相次ぐ矢先猛匪首劉六點が部下十三名と共にこの程隆化縣當局に降伏を申し出で治安史に燦たる一頁を飾る盛大なる降伏式が二十五日隆化縣公署に擧行された、劉匪首は建國以來平泉及び圍場方面を股にかけその殺戮慘虐至らざるなく附近住民恐怖の的であつたが我が討伐隊の切先には既に昔日の俤なく只管降伏の機を狙つてゐたところ偶々匪首五華李成林、大林子等の歸順匪の嬉々たる姿を見るにつけ落日の己が姿の蔽ふべくもなく意を決し更生の道を降伏に求めたものである

三菱支店長更任挨拶

三菱商事株式會社新京支店前支店長井上德三、新支店長谷村順藏兩氏は二十六日更任挨拶に來社、なほ井上德三氏は來る十一月三日午前九時半發列車で離京する

ブラジルの珍客

名士旅行團來京

新興滿洲を南米の親日國ブラジルに紹介し樣と鐵道省觀光協會が招聘したブラジル名士旅行團伯國第六次大統領エルナス・フォンセイカ大將の子息シヤルマダ・フォンセイカ夫妻並びにサンパウロ大學敎授パウラ・ソウサ博士夫妻、同敎授サアレス・デ・メロ博士夫妻の六名は廿六日午後五時廿分着あじあで來京、市內各所を視察したが二十八日午後一時四十分發奉天に引きかへし北京、大連を經て渡日歸國の途につく

尚メロ博士夫人は歸國後日滿旅行記を著述事變下日滿國の眞相を廣く南米諸國々民に紹介することゝなつてゐる【寫眞は驛着の一行】

國司退役中將

【東京國通】退役陸軍中將國司伍七氏は廿五日午後五時淀橋區百人町一四八の嗣子治正氏宅で食道病のため逝去した享年七十

磯村豐太郞氏逝去

【東京國通】北海道炭礦汽船會長、日本經濟聯盟會常務理事常任委員、貴族院議員磯村豐太郞氏は喘息で靜養中心臟痲痺を起し廿六日午前一時世田ヶ谷の別邸で逝去した、享年七十二

滿洲化學工業の社長となつた貝瀨謹吾氏がその披露宴での挨拶に、

「殊に當社の社長は初代が斯波男、二代目が高橋子、さう致しますと三代目は當然伯爵であらねばならぬ譯でありますが、不肖貝瀨は一介の布衣ただ額飾なほ變鐸(カクシヤク)このカクシヤクで埋合せて頂きますと述べ喝采を博した▼ところが一滿化マン曰く、ふゝオヤジあんなことをいふが他人からお達者で結構で、なんて云はれると機嫌が悪いんだ額飾などゝは以ての外、俺は靑年だと強調してるくらゐなのに今のあの言、なか〳〵變通自在なところがあるわい

「支援に負ふところが……と▼ましだ閣下ならびに各位の御ならぬかは今夕御貴臨を頂きといふやうなことになるか、「賣家と唐樣で書く三代目」兎に角私が三代目であります

けふの天氣 南の風晴れ

きのふの氣溫 最高 一八度七 最低零下〇度二

女人果（百八十八）

小栗虫太郎 作　中島喜美 畫

魔都上海（8）

（まだ、出ない、どうしたんだ、オテロのやつ、出場ちやないのか）

靖吉は、じり／＼と口中が乾き、動悸がして舞台どころではなかつた。

もうすこし、オテロが出れば、弓子奪還の火蓋が切られる。

彼は、いま仕掛けた場所が間ちがひではなかつたかと思ひ、氣になるまゝに舞台裏へ降りて往つた。

じつに、護身用として拳銃のほかに、一瓶ダイナマイトの原料である、ニトログリセリンを持つてゐたのである。

それは、うすく塗つたうえをパンと叩けば、ちやうど、銃聲のやうなあの音が出るからである。

それを彼は、オテロの出場に舞台裏で鳴らす、交代鐘の

擬音の鐵甲のうえへ塗つて置いたのだ。

つまり、その音響による混亂を利用して、弓子を救はうとしたのである。

くらい舞台裏は、人影もまばらでどこかにうそ寒い人聲がするばかりであつた。

背景や、簀の子から垂れさがる綱のしたをくゞり拔けてやつと舞台の右端に立つことが出來た。

數千の人の顔が、醉つたやうに、まるで、見えない樂器の弓で、擦られてゐるかのやうに見える。

しかし、演技は終りにちかく、時刻も、まさに十時五十八分だつた。

爆音はどこにあがる——奈落か、それとも、屋根裏にでも起れば、あの嵌硝子のシャンデリヤが、地震のやうに搖れるであらう。

そして、つひに、時のきざみが盡きた……。

オテロが出た……。

しかし、一、二分のあひだはなんのこともなく、そろ／＼期待が危ぶまれてきた頃であつた。

とつぜん、意外な場所から

——じつに豫想さへもされなかつた、奇異な場所からあがつたのである。

ちやうど、幕切で、デスデモナが刺され、たすけて、たすけて、オテロさまがデスデモナ様を殺しちやつた——とエミリヤの狂喚が、まさに幕を下さうとしたときであつた。

いきなり、オテロの胸からかすかな爆音が發したかと思ふと、みる／＼、頸から顔にかけ、くるめきあがる焔につゝまれた。

オテロは、悲痛な呻きをはつし顔をむしりながら、よろ／＼と緞帳に倒れかゝつた。

『あゝ、オテロの胸に……。どうして、あの鐵甲が、滑り込んだのだらうか。』

と一時は、渦巻くやうな、疑惑に襲ひかゝられたが、それさへも目前の慘劇さへも、いつか深い深い放心のなかにうすれ消えてゆくのだつた。

が、場内の混亂は、緞帳にうつつて立ちあがる、舌のやうなものを見たときはじまつた。

流れ、ころがり、倒れ、押し合ひする潰亂の觀客席を、焔が、赤く彩られた谿谷のやうにうつし出したのである。

ちやうど、ふとい、筒のやうな虹が突つ立たかのやうに裝飾の金碧に、シャンデリヤに、照り映えた焔の反映が、みる／＼、たばねきらめく金色の雨となつて降つてゆくのだ。

が、やがて、緞帳はまつ二つに燒き切れた。

そして、裂目から吹き出すすさまじい焔が、オテロの屍體のうへに、轟然と落下したのである。

列車發着表

◎大連方面行

行先	時刻
△大連行	前二時三十分
△奉天行	六時二十分
△釜山行	八時十分
△奉天行	八時卅五分
△大連行	九時三十分
△營口行	十時三十分
△四平街行	十一時卅分
△奉天行	後一時五分
△大連行	一時四十分
△大連行	二時三十分
△大連行	三時廿五分
△四平街行	四時五十分
△釜山行	六時五十分
△四平街行	七時四十分
△大連行	九時四十分
△大連行	十一時五十分
△奉天行	十一時卅分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
△三棵樹行	前三時四十三分
△窰門行	五時五十五分
△三棵樹行	六時三十分
△三棵樹行	八時十五分
△三棵樹行	九時
△三棵樹行	後十二時五十分
△三棵樹行	三時十五分
△哈爾濱行	五時三十七分
△窰門行	七時十分
△三棵樹行	十時五十分
△三棵樹行	十一時五十分

◎圖們方面行

行先	時刻
△吉林行	前七時十五分
△羅津行	八時四十分
△圖們行	十時四十分
△吉林行	後一時五十五分
△敦化行	三時卅五分
△吉林行	九時十分
△清津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
△白城子行	前八時廿五分
△白城子行	十時五十五分
△前郭旗行	後五時三十分

◎大連方面より

發	時刻
△大連發	前三時卅二分
△大連發	六時十八分
△奉天發	七時廿七分
△大連發	八時
△四平街發	八時四十六分
△四平街發	九時卅九分
△四平街發	十時三十分
△釜山發	十一時四十二分
△奉天發	後十二時三十分
△大連發	三時
△大連發	四時二十分
△大連發	五時二十分
△營口發	六時四十八分
△大連發	八時十五分
△奉天發	九時十六分
△釜山發	九時卅五分
△奉天發	十一時卅分

◎哈爾濱方面より

發	時刻
△窰門發	前零時十五分
△濱江發	二時二十分
△三棵樹發	六時五十三分
△窰門發	十時五十七分
△三棵樹發	後十二時卅八分
△哈爾濱發	一時三十分
△三棵樹發	三時十分
△濱北發	六時卅九分
△濱江發	八時十六分
△三棵樹發	九時二十分
△濱江發	十時四十五分

◎圖們方面より

發	時刻
△清津發	前八時
△吉林發	十一時五十分
△敦化發	後二時十五分
△吉林發	四時四十分
△圖們發	七時三十分
△羅津發	九時廿五分
△吉林發	十一時十五分

◎白城子方面より

發	時刻
△前郭旗發	十二時一分
△白城子發	六時卅二分
△白城子發	九時五分